



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

総合職
内定者
BOOK
2024

目次

- 官庁訪問編
 - ・ 官庁訪問の概要…………… [4](#)
 - ・ 官庁訪問に向けた準備…………… [5](#)
 - ・ コラム 経産省を知るためのイベント… [6](#)
 - ・ 官庁訪問LIVE!! …………… [8](#)
 - ・ 経産省にした決め手…………… [11](#)
 - ・ 官庁訪問を振り返って…………… [14](#)
 - ・ コラム 首都圏外出身者向け官庁訪問のすすめ…………… [15](#)
 - ・ コラム 技術系既合格者向け官庁訪問のすすめ…………… [17](#)
- 就活体験記編
 - ・ 内定者の就活体験記～あなたはなぜ経産省を選ぶのか～…………… [19](#)
 - ・ 内定者の就活体験記其の二 【徹底調査】国家公務員を目指すうえで感じた”不安”…………… [22](#)
- 職員インタビュー編
 - ・ 採用担当に聞いてみた…………… [28](#)
 - ・ 特集：留学編…………… [30](#)
 - ・ 特集：キャリアパス編…………… [33](#)
- 今年の内定者編
 - ・ 内定者丸わかりデータ…………… [36](#)
 - ・ 内定者アンケート…………… [37](#)
- 番外編（内定者BOOK別冊）
 - ・ 公務員試験対策…………… [別冊](#)



官庁訪問編

UnsplashのKanchan Raj Pandeyが撮影した写真

官庁訪問の概要

■ 官庁訪問とは？

官庁訪問とは官庁訪問は、2次試験合格発表後に行われる、国家公務員になるために必要なプロセスです。

約10日間で集中的に希望省庁の職員の方々と面接を行い、双方の「マッチング」を図ります。

全過程を突破すれば、内々定となります。

志望者にとっては、省庁に関する理解を深めるとともに、自分を最大限PRし、そして何より**自分がどう働きたいのか**考える機会となります。悔いのないよう、楽しんでください！

■ 官庁訪問のスケジュール・仕組み

官庁訪問は、2023年度の場合、**6月中旬に約10日間**かけて行われました。全部で**4つのクール**に分かれており、それぞれで訪問できる省庁数が異なります。

2022年度までは5クール制で行われていました。今後も採用スケジュールが変わる可能性がありますので、詳しくは**人事院のホームページ**をご覧ください。

第1・2クール	3日間	第1希望から第3希望までの省庁を1日ずつ訪問する。 ※第2クールでは第1クールで訪問していない省庁に行くことも可能。 ※3省庁訪問しなくても良い。
第3クール	2日間	2日間設けられているが、初日に第1志望の省庁を訪問し、2日目は休む人が多い。つまり、実際ここで1省庁に絞る人が多い。
第4クール	1日間	夕方以降、内々定解禁！！

■ 官庁訪問のスケジュール例

第1クール			第2クール			第3クール		第4クール
1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	1日目
A省	B省	C庁	A省	B省	C庁	A省	B省	A省

技術系既合格者向け官庁訪問について

技術系区分の既合格者に向けて、6月上旬の1週間で行われる官庁訪問があります。

詳しくは **p.17** をご覧ください。

官庁訪問に向けた準備

■ 内定者が行った、官庁訪問対策

<政策理解>

- 興味がある分野において**日本が抱える課題**を整理し、それに対する**現状の政策とその効果**を理解しておくこと。
- 今まで参加した**説明会**のメモを見返した。関心ある分野の**政策や最新ニュース**等をまとめた。
- ニュースで話題になっている政策の内容を調べたり、新しく出てきた行政関係の単語の意味を調べたりして過ごしていた。詳細に調べるというよりは、**内容を知っているという程度**にとどめていた。
- **官庁訪問に向けた勉強会(BOND-CRAS)**を主催していました。週に一度程度、各テーマについて持ち回りで発表・討論し、5月以降は面接対策もそこで行いました。

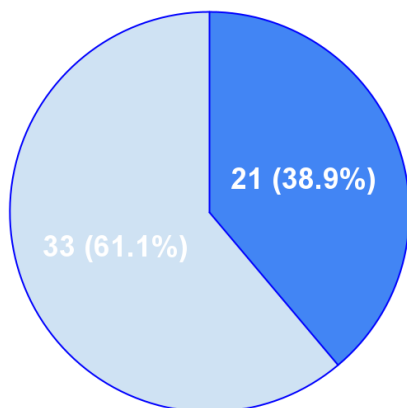
<面接・志望理由>

- ①**志望動機**をよくよく練る②**人事の方から信頼**を得る③**前日はよくよく寝る**
- 面接準備として**想定質問**の一問一答を作りました。インターネットで官庁訪問の体験談を見て脳内シミュレーションをしていました。
- 自分の言いたいことをきちんと言えるよう、面接慣れすることも兼ねて**民間企業の選考**を積極的に受けていた。
- **大学のキャリアセンター**が提供している官庁訪問練習に参加したり、**他の官庁訪問予定者と壁打ち**をしたりしました。
- 申し訳ないのですが、対策という対策はしていません。自分の関心のある分野について経産省の政策を前日にネットなどで調べたくらいです。（今までの企業などでのインターン経験や既存の知識などで相当程度カバーできました。）

■ 対策コミュニティについて

対策コミュニティに参加しましたか？

- 参加した
- 参加していない



各大学や予備校などの対策コミュニティに参加していた内定者は**約4割**でした。以下に一部のコミュニティを紹介します！

- **CRAS**
東京大学を中心に、様々な大学の方が所属しています！
Mail: cras2023.representative@gmail.com
- **京僚会**
関西を中心に、様々な大学の方が所属しています。
X（旧Twitter）：@kyoryokai

経産省は、夏休みのインターンシップをはじめ、秋（9月頃）から春（5月頃）にかけて多くのイベントを開催しています。最新情報は、ぜひ経産省のマイページ、またはホームページからチェックしてください！

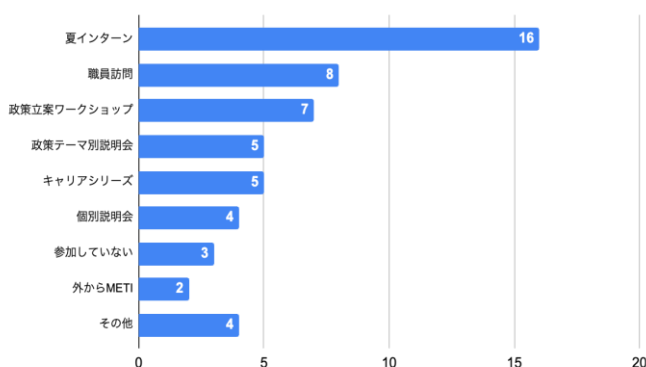
■ こんなイベントがありました！

夏インターン (現：1 week Summer School)

じっくり時間をかけて政策立案に取り組み、経産省の業務の魅力を理解できます！

- 経産省のお仕事の魅力が凝縮しています！職員さんの熱意にふれ、自分達も真剣に考え抜くのはとても楽しいです！
- 政策の作り方から教えてもらえる。また、職員の方とお話する機会もたくさんあり、気軽に質問できる。

Q: 1番印象に残ったイベントは？



政策立案ワークショップ

様々な課題についてどのような政策が撃てるか、グループで考え抜きます！

- チームでの政策立案シミュレーションを一日で体験できるので、気軽さが良いと思いました。
- 社会課題に対して、経産省の枠組みでどう解決を目指すのかがイメージできる！また、将来の同期の実力の片りんを感じ取れる！

職員訪問

実際に興味のある分野に携わる職員さんに、座談会形式あるいは1対1でお話を伺えます！

- 興味を持っている分野に関して、メディアでアクセスできる情報以上のことを聞くことが出来て、非常に刺激的だった。
- 自分が興味関心のある政策や各種動向について、仮説をぶついたり新たに仮説構築するためのタネを提供していただき、官庁訪問でも役立ちました。

キャリアシリーズ

中堅職員の方に、キャリアについて語っていただきます！

- 職員の方が秘める個人的な思いやビジョンを聞くことができるため、おすすめです！
- 現役の経産省員のキャリアについて詳しい話を聞けるので、経産省でのキャリアをイメージできるのでおすすめです。

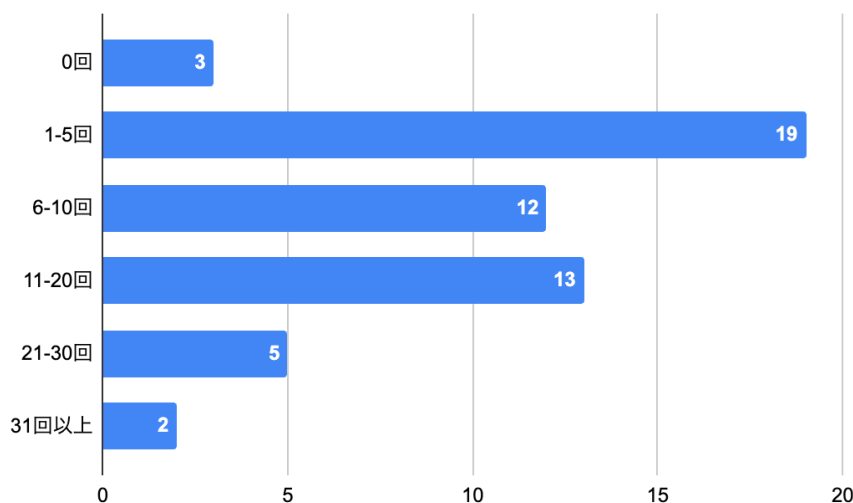
政策テーマ別説明会

個別の政策テーマについて、最前線で担当される職員の方からお話を伺えます！

- 開始時刻が夕方かつ、対面オンラインの併用形式のため、参加しやすくお勧めです！
- 福島復興に関する説明会が印象に残っています。福島復興は何かと話題ですし、経産省が何より取り組むべき課題でもあるので、一度聞くといいと思います。

■ イベントって正直、何回参加すべき？

内定者のイベント参加回数



イベントにはどれぐらい参加した方がいいか、これは皆さんも疑問に思っているのではないのでしょうか？
今年の内定者のデータを見ると、かなりのばらつきがありました。しかし、**少なくとも1回はイベントに参加した人がほとんど**のようです。

■ イベント活用のアドバイス

たくさん行くべき！

- なるべく多くの分野の話を聞いて、自分が**特に興味がある分野を探し、なぜ興味があるのかを言語化**できるようにしましょう！
- なるべくたくさん行っておくと良いと思います。話す人によって**経産省という組織の見え方が異なる**ことがあり、いろいろな職員さんから話を聞くことで**多角的な「経産省像」を描く**ことができます。
- 経産省のみならず、**多様な官庁のイベントに参加し、視座を高く持ってください。政策のウィングの広い経産省を志望するのであれば、なおさらだ**と思います。
- 大学が首都圏でなかったのも、1weekインターンシップ以外のイベントは**オンラインで参加**していました。オンラインのメリットも生かして多くのイベントに参加することをおすすめします。

量より質！もっと大切なことがある！

- イベントは多く出てイメージを持つのもいいと思いますが、**イベントで学んだことの復習やさらなる学びが大事だ**と思います。なので**一つ一つのイベントにしっかり向き合う**ことがいいと思います。
- イベントの内容も大切ですが、**自身の疑問や不安を職員の方に積極的に聞く**ことも大切です！イベントの機会を通じて、官庁訪問前になるべく不安を解消する事が大切だと思います。

イベントに参加したらやった方がいいこと

- 参加したら、必ずメモを取る。その際、**誰が、どんな話をしていたのかをメモ**すること。他人の質問内容もメモすること。



今年の採用担当のお2人にも、イベントについて伺っています。ぜひ **p. 28** をご覧ください！

官庁訪問 LIVE!!

官庁訪問中のある1日を
追体験してみましょう！
(あくまで一例です)



6:30 起床&準備

Q1：官庁訪問に持って行ってよかったものは？

<スタンダード編>

- ノート・メモ帳
考えを整理したり、メモを取ったり、
暇つぶしに絵を描いたり…重宝しました。
- 過去の資料
特に見返すわけでもなかったが、何
となく心強かった。
- 食べ物・お菓子など
他の人に話しかけるのにも使える。

<こんな声も！>

- 変な汗が出るので、汗拭きシートは
お勧め。
- 扇子。現地は暑い（冷房はあってな
いようなもの）。
- 手提げカバン。民間就活ではNGなの
かもしれないが、官庁訪問期間中は
突然呼ばれて移動することが多いの
で、待合室で広げていた資料等をす
ぐにしまえる手提げカバンを持って
行った。メモ帳やペンもすぐに出せ
るので、職員の方の前でバタバタせ
ずに済んだ。

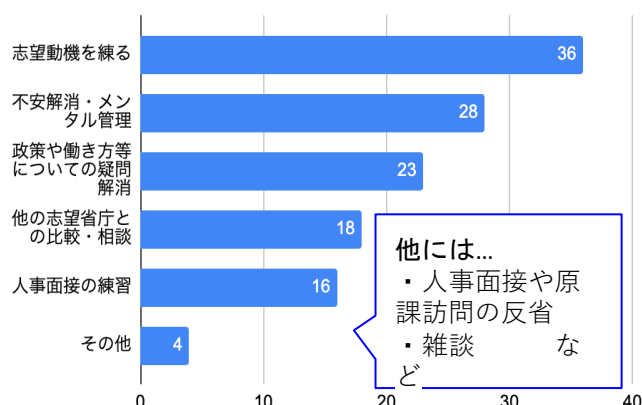
9:30 ブース面接

経産省では官庁訪問を通じて、メン
ターの職員さんがついてくださいます。
このメンターさんとの面談を「ブース
面接」といいます。
1日の始めと終わりなど、10～30分程
の面接を数回行い、志望動機の確認や、
原課訪問の希望調査、お悩み相談など
をしてくれます。

メンターさんとの思い出エピソード！

- 原課訪問で質問に上手く答えられず落ち
込んでいたところ、暖かく励ましてくだ
さり、少し気が安らぎました
- 経産省の志望を決めた時期が比較的直前
だったので不安があったのですが、最後
までメンターさんが親身に相談に乗っ
てくださり、落ち着いて面接に臨めまし
た。
- しんみり喋る方だったので、ブース面接
ではなども「終わったな～」と思った。
そのことを4クール終了後に伝えたところ、
メンターさんなりに真剣さを伝える
ための話し方だったらしく、2人で笑っ
た。
- バイト先が一緒だったことが分かって嬉
しかったです。
- 旅行が趣味と伝えた際「彼女とでも行く
の～？」と聞かれ、一瞬自分の時が止
まったこと。言えません！！

Q2:ブース面接の活用方法は？



メンターさんについて、
・優しくかった！
・励ましてもらった！
という声が多数でした😊

10:00 原課訪問①

原課訪問では、職員さんから政策や仕事内容についてのお話を1時間ほど伺います。1日に2～3回ほどあり、突然呼ばれてびっくりすることもある！質疑応答形式やディスカッション方式など、実施形式は人により多様です。志望動機と一緒にブラッシュアップしてくれることもあります。

11:00 人事面接

秘書課の方との面接に、周りの学生が次々と呼ばれていき、緊張がMAXに……。ただ、自分の想いや志望動機をしっかりと伝えられるよう、万全の準備をして臨めば大丈夫です！



12:30 待機

面接や現課訪問以外の時は待合室で待機します。飲食して束の間のリラックスタイムを過ごせます。席は自由で、席移動も自由です。周りの学生と話したり、職員の方に伺ったお話をノートにまとめたり、待合室担当の職員さんと話したりしている学生が多かったです。

12:30 原課訪問②

お昼を食べてゆったりしていると、名前が呼ばれて焦って荷物を片付けます……！

省内移動中に、他の職員の方から「官庁訪問中？ がんばってね！」とお声がけをいただき、励みになりました。



原課訪問エピソード

- 興味分野の職員の皆さんにお会いできてとにかく楽しかったです。学生の私にも非常にフラットに議論をしてくださったのが印象的でした。
- 自分がやりたい政策でまさに今舵を握っている方と議論させていただいた際、自分の力不足で泣きそうになったこと。今思えば、諦めず食らいつく姿勢が評価されたのかもしれない。
- 当初1時間の予定を大幅に超えてお話を聞いてくださった方がいらした。その職員さんは非常に印象に残り、経産省を選ぶ一つの決め手となった。
- 最初に「僕あ政策の話はしないからね。」とミルクティーを渡される。「君、豊かさとは何だと思う？」
- 「日中はエアコンがつくけど、夜はつかないから、昼の2時より夜の2時の方が暑いんだよね（笑）」と職員の方から言われたこと。
- 課長と今シーズンのプロ野球の順位予想をした。
- 動物の名前が名字に入っている職員が面接官だった時、その人のTシャツやパソコンの待ち受けにその動物の刺繍やイラストがあり、ちょっと面白かった。

15:30 待機

待合室に戻り、おやつタイム。たくさん頭を使った後の糖分が体に染みます……笑

待合室での思い出エピソード

- 呼ばれた際には「頑張って」と送り出し、帰ってきたら「お疲れ様」の声とともに、得た情報を共有していたのが印象的。
- ひたすら同期と喋っていた。人事面接前は緊張で震えていた。
- 6人掛けのテーブル席とは別に、集中したい人向けの1人席があったのが印象深い。壁に面していて自習室みたいだと思った。
- 用意してくださっていたお菓子が好きなものばかりでめっちゃ食べました。
- 地元のお菓子を配ったらみんなに好評だったので、うれしかった。
- グループディスカッションで一緒だったメンバーと人狼や恋バナで盛り上がりました。
- 緊張のあまり入退室を繰り返して、入退室シートに書く欄が無くなった。たぶん史上初の継ぎ足しが行われた。

17:00 原課訪問③

1日の中で最後の原課訪問。
ここまで来ると緊張が解けてくる、というより、疲労で力が抜けてきます（笑）。

20:00 出口面接・帰宅

メンターさんと1日の振り返りをし、当日の評価が伝えられます。
人事院のルールに従い、原則20時までには帰宅します。

官庁訪問中の休みの過ごし方は？

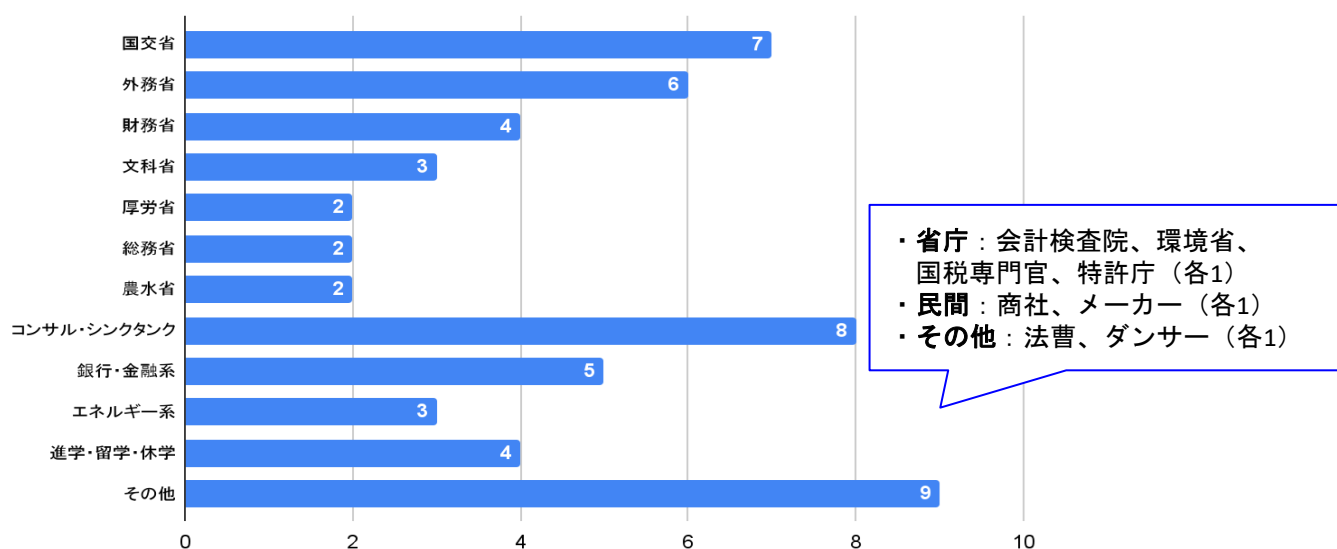
- カフェで職場訪問の振り返りや志望動機のブラッシュアップをしていました。
- 官庁訪問をしている友人と話す。
- クール間の土日に国家一般職と県庁の一次試験があったため休む暇がなかった。試験の次の日は東京で官庁訪問があったため、試験が終わるとすぐに新幹線に乗り込むような慌ただしい日々だった。
- 第3クール1日目にどの省庁に行くか、家の周りをひたすら散歩して考えた。
- 体力回復のためほとんど寝て過ごしていました。
- 特殊なサウナに行ってきた。
- アニメ見てた。
- 寝る。東京観光。ディズニー！！



4日目夕方 内々定解禁！！！！

経産省にした決め手

■ ここと迷いました！



■ 経産省にした決め手（省庁編）

#国交省

<迷った理由>

- ・ 防災に関心があった。生活インフラを整備できる。
- ・ 元々の興味が地方の公共交通政策や都市計画、国土政策で、それに携わりたいと考えたのが国家公務員試験受験のきっかけだった。
- ・ ①土木の知識を生かし、狭義の技官に成長できる②インターン参加により働くビジョンが明確になっていた。

<なぜ経産省に？>

- ・ 職掌が広く、多様な業務に携わることができる。また、職員の方々に惹かれた。
- ・ 「国交省が守り整備する価値のある日本をつくること」が自分の根源的欲求だと気づいた。
- ・ 経産省と国交省で課題へのアプローチの仕方が異なると感じ、経産省の考え方の方が自分に合っていると思った。

#外務省

<迷った理由>

- ・ 子どもの時から外交官に憧れがあり、そこから国家公務員を目指したという経緯があったので悩んだ。
- ・ 自分が解決したい社会課題に取り組むにあたって、外国の視点が重要だと思っていた。

<なぜ経産省に？>

- ・ 原課訪問を通じて経産省員の雰囲気が自分に合っていると感じた。加えて、実際に弾を撃つのは外務省だが、弾をこめるのは経産省だという話を聞いて経産省の仕事に魅力を感じた。
- ・ 自分が面白さを感じるのは、日本の強みでもって、国際課題を解決することだと気がついた。民間主体に密にアプローチしたいと思った。

#財務省

<迷った理由>

- 金融という経済の血脈の重要さと、そこに携わることでの政策の広さに魅力を感じた。
- 経産省と同じく政策のウィングが広く、実行力がある。

<なぜ経産省に？>

- 現場のミクロへの解像度がより高いのが経産省だと思った。また、アクティブに課題解決を進める経産省の方が、自分に合っていると思った。
- メンターの方の「財務省では白洲次郎になれないよ」という言葉が刺さった。

#厚労省

<迷った理由>

- 日本を「暮らしやすい国」にするため、「困っている人」に直接アプローチできる厚労省は魅力的に思えた。

<なぜ経産省に？>

- 経済成長がなされていなければ、日々生きることができたとしても経済的・精神的に豊かで幸福な暮らしを送ることはできないと考えた。
- 経産省も様々な領域で「困っている人」の問題解決に取り組んでいると感じた。厚労分野以外の課題解決にも関心があったので、経産省の課題設定の自由度や射程の幅広さは、魅力的に思えた。

#総務省

<迷った理由>

- 社会に与える影響の大きさで考えた時、総務省のICT分野も経産省に匹敵するものを持つと考えた。
- 総務省（自治分野）では入省3か月で地方赴任ができ、その後も定期的に地方赴任ができる。

<なぜ経産省に？>

- 両省の職員の方にお話を伺う中で、経産省の方が総務省よりも、社会や人々の生活に近い場所にいるのではないかと感じた。
- 経産省の方が、地方活性化という自分の志望動機に最も近い仕事ができるのではないかと考えた。

#文部科学省

<迷った理由>

- 科学技術の振興やイノベーション政策に興味があったため、文科省と経産省で迷った。
- 日本型雇用慣行の打破に携わりたかったので、高等教育からアプローチできる文科省と悩んだ。

<なぜ経産省に？>

- 同期や人事、原課であった人の雰囲気、カルチャー、価値観。まさかそんな理由で選ぶとは思っていなかったが、馬が合うってやはり大事な点と改めて気づくことがあった。
- 前向きな雰囲気になんとなく強く惹かれた。教育に限らず雇用なども含めて社会全体を俯瞰して考える必要性を感じた。

#農林水産省

<迷った理由>

- 食は人間に必須であり、自国の農業を支えることは極めて重要だと考えた。

<なぜ経産省に？>

- 幅広い分野でチャレンジできると思った。また、自身の専門分野以外の知識も深め、多くの観点で国を支える人材になりたいと思ったときに、経産省の方が達成できると思った。

#その他の省庁

<迷った理由>

- 環境省：もとより、環境問題に興味があった。
- 会計検査院：得意な会計をもちろに生かせる上に、残業時間が少ない。

<なぜ経産省に？>

- 環境省：環境問題へのアプローチとして経産省の方が自分に合っていた。また、万が一関心分野が変わっても、経産省なら守備範囲が広いので安心できる。
- 会計検査院：自分の性格に一番合っていると感じた。

■ 経産省にした決め手(民間編)

#コンサル・シンクタンク

<迷った理由>

- 給与や業務内容が魅力的に思えた。特に、企業活動に近いところで働ける点が魅力的に思えた。
- 国内企業とともに新たな先進的事例を実現することで、日本の経済界を前に進めることができると考えた。

<なぜ経産省に？>

- 広く社会的インパクトのある業務に惹かれた。議論文化があり、自分に合っていると思った。また、面白い人が多いと感じた。
- 官庁訪問で経産省の管理職の方々の視座の高さを実感し、自分もそのレベルになりたいと思った。

#銀行・金融系

<迷った理由>

- 働き方・給料の条件が良い。
- 自分のしたかった地方創生に、より近い立場から取り組みたかった。

<なぜ経産省に？>

- 所掌範囲が広く様々な角度から経済を捉えられる。
- よりレイヤーの高いフィールドで、経産省でしかできないことがあると思った。

#エネルギー系

<迷った理由>

- 第一線に立って仕事をするか、ルールメーカー側に立つかで迷っていた。
- 経産省では、エネルギー分野も数ある政策分野の1つに過ぎない。

<なぜ経産省に？>

- 一部の顧客にエネルギーを提供する立場ではなく、日本全体のエネルギー構成に関わるべきだと思った。また、最後まで国のために働きたいと思った。
- 尊敬でき、一緒に働きたいと思える先輩と同期がいる。

#進学・留学・休学

<迷った理由>

- 自分の研究分野において未知の現象の真理に迫る一步手前というタイミングで、全く別の業界、それも研究以外の分野の職を選ぶことに対して迷いがあった。
- 留学中のため、民間就活ができなかったため、休学して25卒としての就活を考えていた。

<なぜ経産省に？>

- 国家の発展に貢献したいという考えは以前からあり、短い人生を次のステップに進める良いタイミングだと考えた。極めて狭い分野の進歩に貢献する研究から心機一転し、国家という大きな枠組みを進歩させようと働くことができると考えた。
- 個別相談などでご相談するうちに、経産省での働き方が自分に合っているのではと思った。

官庁訪問を振り返って

■ 内々定の思い出！

- 第4クールの昼休みに同期になる数人で回転寿司に行きました！
- 圧倒的な、開！ 放！ 感！
- すごい笑顔になっていたと思っていたのですが、後から写真を見返すと、緊張で顔がこわばったままでした。
- 純粋に嬉しかった一方、国家公務員と言う仕事を持つ責任感の重さにも思いを巡らしていました。
- 面接中に笑いすぎていたことをネタにいただきました。
- クールビズに甘えて4日目にもジャケットを持たずに行っていたので、半袖で内々定を告げられ職員の方に「そういう人はなかなかいないよ」と言われました（笑）。
- 内々定を頂いて感動しました。同時に、研究室のことが頭をかすめて現実に引き戻されました。
- 内々定を頂いたことよりも、内々定第1号だったことの方が嬉しかったです。
- 1クール目に良い評価を伝えられていたのに、2クール目には評価が落ち、3クール目で持ち直して内々定に至りました。途中で迷走もしましたが、内々定が取れてほっとしました。
- それまでの面接で厳格な雰囲気だった職員の方が微笑んでくれたことがとても印象に残っています。
- 内々定の際は「笑ってはいけない24時」の中にいるような感覚と足が震えるほどに緊張する感覚が半々のように頭がぐるぐるしていました……。

■ 官庁訪問中に心がけたこと



- とにかく体調管理・なるようになるという心持ちでしました。
- 原課訪問ではお忙しい職員の方の時間を頂いていることへの感謝を忘れないようにしつつ、自分が知りたいことは臆せずに質問していました。
- 自分が原課訪問で学んだことや感じたことをスムーズに話せるようにするために、常に頭の中を整理していました。
- 知識の習得よりも、自分が何をしたいのか・なぜしたいのかを深掘することに重心を置きました。
- とにかく明るく、ポジティブであることです。不安材料は探せばいくらでもあるので、ある種の鈍感力が大事だと思います。
- いつも通りでいることです。毎朝のルーティンである珈琲を豆から淹れることを、官庁訪問中も欠かさずやりました。それで落ち着くことができたと思います。
- 全力で楽しむことです。簡単には話を伺えない方々と面談する機会を頂いていることを理解し、すべての時間を無駄にしないようにしていました。
- 遅刻だけはしないように、アラームを5重にかけていました。

■ 官庁訪問中のプチエピソード

- メンターさんの言葉が頭に残っています。「METIは漫画キングダムの世界そのもので、上に立ったときの景色は唯一無二」
- 経産省本館の13階にある自動販売機には、キンキンに冷えた麦茶が安く売っているのでお勧めです。
- 官庁訪問1日目、考え事をしながら歩いていたら、お手洗いの入方を間違えそうになりました（ぎりセーフでした）。
- 人事面接が終わり、部屋を出る時に緊張しすぎて「失礼致しました」と言うのに3、4回噛んでしまい、面接官に笑われてしまいました。
- 霞ヶ関駅で降りる人がみんな経産省の人に見えていました。

首都圏外出身者向け 官庁訪問のすすめ

首都圏外にお住いの皆さん、「地方出身だと不利かもしれない」「東京に行くのは不安」と思っているかもしれません。

しかし、ご安心ください。今年の内定者のうち19人（約3割）は首都圏外の大学・大学院に通っています。

一方で、地方にいと、東京に移動・宿泊するなどの負担がかかってしまう、OB/OGとのつながりや情報を得にくいという障壁もあります。

今回は、見事内定を獲得した内定者に、地方から参加する官庁訪問のリアルについて、聞いてみました！

■ 交通手段はどう選ぶ？

選ぶ基準

- 身体的負担にならないものの方がいいです。
- 快適に過ごせるものを選ぶこと。体調を崩しては元も子もありません。
- 多少値が張っても、**自分がストレス無く移動できる**交通手段を選ぶべきだと思います。

これで東京に行きました！

- 新幹線 or 飛行機 + 在来線が楽だと思います。
- 移動にお金と時間を使わないために、夜行バスを利用し、移動中に睡眠をとりました。
- 官庁訪問は体力的にしんどいので、夜行バスは避けました。

先輩からのアドバイス

- 飛行機のチケットは早めに取りましょう。
- **最寄駅からのアクセスの良さ**を調べておくといいです。
- 新幹線でも夜行バスでも、帰りは第4クール当日夜ではなく、翌日の便を取っておくことをお勧めします。
- 早朝 or 深夜の飛行機を選ぶと良いと思います。

2024年からは春試験の合格発表が5月下旬に出るそうなので、より余裕を持って移動手段や宿泊先の確保ができそうです！

■ 宿泊先はどう選ぶ？

- 霞が関に近く、**電車で一本**でいけるところがいいです。
- ランドリー設備があるところです。
- 安さを求めるなら、都心から少し離れた場所を選ぶといいと思います。
- 霞が関から地下鉄一本で行ける駅の近くを選びました。加えてその駅近辺の**飲食店の多さ**も見ました。
- 徒歩圏内か直通で通えるホテルを選択すると思います。
- 浴場のあるホテルを選びました。お湯に浸かってリフレッシュできました。
- 乗り換えが面倒なので、**千代田線**、**日比谷線**、**丸ノ内線の沿線**に宿を借りるのがお勧めです。
- 宿は早めに予約しましょう！！！！

首都圏外出身者向け 官庁訪問のすすめ

■ 実際にかかったお金はどのくらい？

内定者へのアンケートによると、

- 交通費：2～3万円（距離により異なる）
- 宿泊費：1泊7千円～1万円（10泊した場合、7～10万円）
- 食費・生活費など：1日約3千円（10泊した場合、3～4万円）
- 総額：10～20万円（滞在日数、交通費による）

とのことでした。

中には、飛行機のマイルを活用する、実家や友人の家に泊まらせてもらう、早めに予約する、などで費用を抑える工夫をしている人が多くいました！

■ 情報戦に負けないためには？

地方出身者が直面しがちなもう1つの壁に、**情報格差**があります。OB/OGとのつながりが少なかったり、対面でのイベント参加が限られたりすることで、情報戦で不利になっていると心配になる方もいるでしょう。そこで大事になるのは、**オンラインの活用**です。対策コミュニティ（**p.5**）や、多くの経産省のイベント（**p.6**）もオンラインで実施されています。ぜひ積極的に参加してみてください！ 情報がより得やすくなると思います！

■ 地方出身の先輩からメッセージ！

- 地方から慣れない土地での取り組みで引け目を感じるかもしれませんが、しかし、地方だからこそ見えている景色があります。その景色を生かしながら自身を魅せていけば大丈夫です。応援しています！
- たまに同郷の人（志望者でも職員の方でも）がいるので、そんなに心細くなる必要はない気がします。
- 金銭的負担は大きいですが、地方在住だからこそ意見できることもあるはずです。自分のアイデンティティの1つだとポジティブに捉えて頑張ってください！
- 行政を担うにあたって、大学時代を地方で過ごすというのはとても有意義なことだと思います。皆さんが住む地域の課題や違和感に向き合ってみてください。それが政策のヒントになりますし、首都圏大学の学生が持ち得ないあなたの武器になります！ 地方からの就職活動応援しております！
- せっかく東京に行くので、休みの日は観光して楽しみましょう！
- 東京もんに、負けてはならぬ。
- 東京という街に怖気づくな！
- 一緒に夢を叶えましょう！

技術系既合格者向け 官庁訪問のすすめ

理系学生の皆さん、技術系区分の志望者のために一足早い官庁訪問の機会があるのをご存じでしたか？ 精神的・金銭的負担が抑えられるこの制度についてご紹介します！

■ どうすれば訪問できる？

今年度に対象となったのは、以下の両方の条件を満たす方でした。

- ・ 2021年度－2022年度の試験に合格（官庁訪問の前年度・前々年度の試験に合格）
- ・ 区分：デジタル、工学、数理科学・物理、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境

■ スケジュール

第1クール		第2クール (1日のみ)		第3クール
1日目	2日目	午前	午後	1日のみ
A省	B省	A省	B省	A省

一般の官庁訪問に比べて期間が短く、数日で内々定を得ることができます。今年度は、**6月第1週**に実施されました。

■ 既合格者向け官庁訪問をおすすめする理由

既合格者向け官庁訪問を行った内定者によると、メリットは以下の4つです！

1. 既合格者向けとメインのもので**最大2回**官庁訪問できるチャンスがある。
2. 官庁訪問期間が短く、体力的に負担が軽い。
3. 官庁訪問の直前に試験勉強をせずに済む。
4. 人数が少なく、**内定者同士**でより仲良くなれる。

■ 先輩からのメッセージ！

- ・ 既合格は最大のメリットだと思うので、全力を尽くしてチャンスをつかみましょう！
- ・ 雰囲気をつかむことも兼ねて、早めに試験を受けておくの良いと思います（無料ですし）。
- ・ 大学院入試の前哨戦に使う合格しておく、勉強の負担を抑えながら官庁訪問前にゆっくり志望動機を考えることができます！
- ・ 期間の短さや内々定の早さなど、特に研究で忙しい技術系の皆さんにはとてもお勧めです！
- ・ 院進予定の学部4年生は卒論を提出し終えたら公務員試験に申し込みましょう！ 院試を控えた学部3年生も、配属先の研究室が決まったら公務員試験に申し込みましょう！ 未来の修士2年の自分に感謝されます！



履歴書

年 月 日現在

ふりがな	
氏 名	
年 月 日生 (満 歳)	※性別
ふりがな	
現住所(〒 -)	
E-mail	
ふりがな	
連絡先(〒 -)	
E-mail	
電話	

年	月	学 歴・職 歴 (各別にまとめて書く)

写真貼る
写真貼る
ある場合
1. 縦
横
2. 本人単位
3. 裏面のり
4. 裏面に

就活体験記編

内定者の就活体験記

～あなたはなぜ経産省を選ぶのか～

「未来の日本を豊かにするために、様々な課題の解決をリードする」

経産省が掲げるこのミッションは、実は非常に多様。各々が考える「豊かさ」を目指し、自分が解決したい「課題」を解いていきます。職員一人一人に、それぞれの“想い”があって、その実現のために日々奮闘しています！

経産省の政策は、まさに無限大。私たち内定者は、十人十色の“想い”を、無限の広がりを持つ経産省でなら叶えられると思い、経産省を選びました。この記事では、取材に応じてくれた4人の内定者が就職活動の中でどのようにして経産省という選択肢にたどり着いたのかを、クロストーク形式でお送りします！

あなたは何を成し遂げたいですか？

その“想い”を実現できるのはどこですか？

皆さんの“志”を追求できるフィールドとして、経産省の可能性を感じて頂けたら幸いです。

内定者プロフィール

次郎

● ● ●
法学部4年
政治学・国際政治を勉強
アメリカ文学に関心

NR

● ● ●
医学研究科修士2年
医学系の研究。テーマはデータサイエンス
趣味はパン屋巡り

ももなつ

● ● ●
経済学部4年
経営学系を勉強
グローバルへの憧れ

うさぎ

● ● ●
新領域創成科学研究科修士2年
環境学系の研究
学部時代は水泳部に所属

一初めに、経産省を志望した時期ときっかけを教えてください。

ももなつ 私は大学2年頃から選択肢として見ていました。結構周りに引きずられるタイプで、周りが弁護士・公認会計士などの勉強を始める中で、何もやっていないという焦燥感に駆られてて。自分が何を勉強したいかを考える中で国家公務員良さそう、ということでゆるく勉強し始めたのがきっかけなんですよ（笑）。

うさぎ そうか、文系の場合は2年の頃から進路考え始める人もいるかもね。理系の場合は周りがみんな脳死で院に行くから、2年の頃は俺は部活ばかりやってたし（笑）。

NR 私も理系で、サークルやアルバイトをエンジョイしていました（笑）。私は大学4年生の3月頃に、周りが就活し始めたから、自分も就活を始めました。最初は、民間から国家公務員までいろいろ広く見てて。国家公務員も広すぎて、どこを見ようか迷っていた時に、**たまたま新聞記事で、経産省がヘルスケアもやっていることを知って**。自分自身、保健系の学部だったので面白そうと思ってインターンに参加したのがきっかけですね。

次郎 俺は大学2年の頃は外資系コンサルに行こうと思って。でも途中で、自分はお金稼ぎたいわけではないことに気づいたんだよね。その後は、最初は外務省とか防衛省を志望していた。でもやっぱりインターンで、**国内に携われるところとか、長期的な視点で物事を考えられるのが面白いなと思って経産省を見始めたんだよね**。周りを見ても、インターンって結構転職になる人多いかもね。うさぎはインターンの前から経産省見てたんだよね？

うさぎ そうだね。交換留学に行くときの志望動機を大学の先生に話したときに、この志望動機だったら経産省行ったら面白いんじゃない？と言われたことがきっかけかな。それで実際インターンに参加してみたら、結構フィーリングが合ったから、そこで一気に志望度が高まった感じ。**職員さんたちが遅い時間まで質問に付き合ってくれるし、日本の課題感をぶつけたときに熱心に応じてくれて**。熱意ある職場だなと思ったんだよね。

一なるほど。ありがとうございます。次に、経産省の他に志望していた省庁や企業、その他進路などはありましたか？

NR 民間は、メーカーや製薬など自分の研究分野を生かせるところが良いなと思ってました。博士課程への進学も選択肢だったので、民間・国家公務員・進学の3つで悩んでましたね。

うさぎ 俺は博士進学は考えていなかったんだよね。学部卒業時には、民間就活を考えてて。最初見てたのは商社とかだね。自分は、人付き合い嫌いじゃないし、人の力を借りつつ他人に貢献するっていうのは、結構日頃からやってて。これって商社じゃんって思ったんだよね。だから最初は、経産省の「け」の字も出てきてなかった気がする。次郎はさくっと外コンはすぐ見なくなったの？

次郎 そうね。**お金を稼いで何をしたくなったのか分からなくなって**、外コンはすぐに見なくなった。車と別荘は欲しいとかあるけど、それは稼げる人と結婚すればいいと思ったし（笑）。

ももなつ 私は、公務員試験は教養区分で受けて、後から民間に振ったタイプだね。経済を勉強していたのでお金の流れに興味があって、金融業界を見てた。あと、小さい頃にビフォーアフターが好きだったという理由でデベロッパーも受けてたかな。それを見透かされて結構落とされたけど（笑）。金融は最後まで残っていたけど、**民間だからどうしても顧客が最優先だと思って**。もう一つは、自分にとって、**海外と国内をつなぐということはやりたいことの一つだった**。でもメガバンクだと顧客が限られることが多いからフィールドも限られるなど感じちゃって、**経産省見てましたね**。

うさぎ 二人の話を聞いてたら、扱うフィールドの広さって結構大事なのかもと思った。NRは経産省のフィールドの広さに惹かれた部分とかあったりした？

NR そうですね。民間だと、特定の分野を極めていく研究職を中心に見ていたけど、ずっと一つのことをやるのは不安を感じてて、**間口が広い方が良いと思って国家公務員を選びましたね**。どういうところを社会人として見ていくことができるかってところは考えてました。

うさぎ そうよな。社会人として見れる世界の広さは間違いなく経産省が一番だと思う。

次郎 誰が言ってたか忘れたけど、どの組織でも広い領域を扱っている中、その組織のどれだけ多くの部分に自分が興味を持てるかで決まろっという話があって。**経産省は所掌が広いけどどの分野も結構面白そうなことやってると俺は思ってた、同じように経産省がやっていることの多きに面白そうって思えるなら経産省向いてると思う**。

うさぎ あと、民間は自分が稼ぐのが一番大事だから、世界をそういう目でしか見れないよね。

次郎 そうね。世界の見方はある意味狭まるかも。もちろん公務員もビジネスの視点は大事だと思うけどね。

一経産省と経産省以外の選択肢の志望度の差はどういう推移を辿ったのでしょうか？

ももなつ 私は、官庁訪問で言うところと農水省と総務省のICT分野を回りました。もともとやりたかったことは、日本全体を盛り上げるということで、地域における重要産業である農業はその一つの選択肢だと思って。総務省と経産省は志望理由が結構似ていました。これからより情報技術が産業の要になっていく中で、日本のICT技術を進めていくには、総務省かなと思って。でも**大学で経済を学んでいることもあって、経済が一番興味高かったので、やはり経産省が第一志望でした**。民間との志望度の差で言うと、大学4年の4月までは民間の方が志望度が高かったけど、それ以降は経産省が第一志望になった。4月頃に民間は肌が合わないと感じました。皆さんは官庁訪問はどこを回られましたか？

うさぎ 俺は官庁訪問は、他はどこも回っていない。**もともとエネルギーに興味があって、「エネルギー」×「日本を元気に」、という切り口で見ていたので**、民間と公務で分けていたわけではないね。それができる場所ってことで経産省を見ていた。NRは？

NR 私は、1日目に経産省を訪問して、2日目に文科省、3日目に特許庁に行きました。日本の科学技術を盛り上げたという思いから、この3省庁を訪問しました。特に、科学技術分野の政策立案に携われる経産省と文科省の志望度が高かったです。この2省庁は官庁訪問中もギリギリまで迷っていました。

次郎 俺は官庁訪問の段階では官庁しか考えていなくて、官庁訪問は経産省、財務省、環境省の順で回りました。でも志望度は経産省が一番で、一方で財務省も面白いなと思ってた。バランス感覚が求められるのも結構面白いし、名物の職員の方も多いしね。ただ**個々の分野への興味って意味では、経産省の方が、所掌範囲のうちより広い分野に関心持ってたんだよね**。あと適当な人間だから、財務省のしっかりした感じがあんまり向いてないなと思って（笑）。

うさぎ 生意気なことを言っても経産省なら飛ばされなさそう（笑）。政治家を揶揄したり、官僚の働き方の悪態をついていたけど、職員の方は寛容だったな。

ももなつ 民間企業との関わりが多いから、他省庁より民間寄りの空気は感じるよね。

次郎 そうね、**コミュニケイティブだよね。議論することが好きで、前例や根回しにとらわれず、まずは考えてみようという姿勢がいいよね**。それは経産省の強みであり、他省庁に嫌われる部分でもあるけど（笑）。

一皆さんの就職活動の中で一番迷ったタイミングはいつでしたか？

うさぎ 俺は4月かな。某商社を訪問した時に、魅力的に見えちゃったんだよね。環境はこっちのほうがよくない？と思った時期はあって。その時、なんでわざわざ辛い思いをして官庁に行くのか、少し揺れたな。

ももなつ 私は3月ですね。民間から公務員にシフトするかしないかで迷った。大企業は、すごくきれいなオフィスで、飲み物がたくさんあって。お土産ももらえて、結構物で釣られるんですね（笑）。公務員就活を始めると民間就活が結構圧迫されるので、公務員にシフトするかで迷ってましたね。

NR 私は省庁で迷ってたので、官庁訪問期間中ですね。心の中では経産省に行きたいと思っていましたが、文科省も魅力的だなと思って。すごく悩んだので、文科省に辞退を伝える時には、本当に断っていいのか迷って、結構緊張しました。

—そうした迷いの中で、経産省を選んだ決め手を聞きたいです。もしかすると、我を見失う時期もあったかもしれません。そういう時期に大切にしていた考えはありますか？

うさぎ そうだね、我を見失っている時期はあったかな。官庁訪問後にいろんな話を聞きに行った時に、お前は自身で何を大事にしているのかを聞かれたときに上手く答えられないなと思って。就活だときれいな志望動機を語りがちだけど、例えばどういう生き方をしたいかっていうような問いとそれまであまり向き合ってなかったなと思って。それぞれの進路に行った時にどういう生き方になるかを結構考えたかな。そのための情報を、OB訪問をして集めていた。後輩に伝えたいこととしては、いろいろな人にいろんなことを聞いて、働いた後のイメージを鮮明に持つことかなあ。あとは、最終的に自分がやりたいことは何か、を大事にすることだね。商社と官庁は、給与水準自体は違いが大きいけど、出ていくお金も大きいので、結局自分が大事にしたいところに使いたいお金とか、生活レベルって、そんなに大きくは変わらないのかなと思った。そういうところは本当に働いている人に聞かないと分からないと思う。

次郎 それ、結構大事だと思う。ここに行ったらこういう人間になれるだろうなみたいなのって、組織によって変わってくるから、どっちの自分によりなりたいたいのかっていうPERSONの部分を考えるといいよね。もちろん、その組織でできること、つまりCANも大事。CANとPERSONで、どちらの組織がいいのかを考えるのがいいのかなと思う。

うさぎ 将来どうなりたいたかはめちゃくちゃ大事だよな。経産省にしたのは職員が決め手かもしれないと思って、商社は物質面は充実してそうだけど、仕事に満足している感じはあまりなくて。経産省の職員は、日本の課題について問いかけてみるとすぐにその課題に対する意見とか考えがパッパと出てくるよね。社会人としての到達点はこっちのほうが高いのではと思った。

次郎 そうね。民間との間で仕事のモチベーションに差が出てくるのかなと思った。商社の人の話を聞いていると、早期リタイアするために仕事しているのであって、内容自体はあんまりと言っている人がいるし。もう一つは誰と関わるかという点で、例えば財務省だと関わる人は霞が関の人が多くて、ややもすれば閉鎖的な人間になってしまうところもあるかもしれないと思ったんだよね。民間との交流が多いのは経産省のアピールポイントだと思う。

ももなつ 就活を通じて、人のためにならない仕事はないってことに気づいたんだよね。結局誰のためにどんなことをしたいのか、が決め手になる気がしました。メガバンクであれば、口座を持っている個人や企業のために、彼らの資産運用をしていく。大まかに言えば、それによって社会が活発になればよしという感じの業務内容。主に数字をみるという業務になってくるんだけど、それが自分にとって楽しいのかって思ったのは少しあって。結局仕事が人生になっていくと考えたら、やっぱり楽しいことをやりたいかなと思ったんだよね。それが官庁志望への転換理由かな（笑）。だから、就活生には自分が楽しいと思えることは何かを考えて欲しい。もちろん入ってみないと楽しいかどうか分からない部分もあるけどね。元も子もないことだけど、合わなかったら転職も可能だと思うんだよね（笑）。だから、今の時点で一番楽しめそうなところに行けばいいんじゃないかと、最後の方には悟りましたね（笑）。

うさぎ 情報っていう面で言うと、職員の話を聞いてて、ネットやSNSの情報は嘘が多いなと思った。実態とかけ離れた官僚のネガティブキャンペーンは、真に受けない方がいいと思う。

次郎 そうね。就活は、色々な人に話を聞ける貴重な機会。見たこと、聞いたものを自分で咀嚼して、自分が面白いと思った方向に進めばいいと思う。それに尽きる気がするんだよね。

NR 私も結構皆さんと同じで、民間・公務員問わずここで働いている職員と話すのは結構大事だと思う。自分自身、職員さんに率直な意見や質問を聞いても相談に乗ってくれた。迷っていることや分からないことを大人の人にぶつけてみるのは大事だなと思いました。

次郎 ちなみに俺、迷わなかったんだよな。迷わなかったって言ったら多分嘘になるけど、迷ったり悩んだりしても、一回考えるのを止めてノリで決めるようにしてた。民間と経産省もどっちかという経産省だと思うし、財務省との比較でも、どちらかという経産省だなと思って。ノリで決めるっていうのはある意味直観に従うってことでもあるから。いろいろ迷っても答えなんて出ないから、直観で決めるっていうのは大事だなと思います。

うさぎ そう。最後は直観だよな（笑）。

NR こっちで働きたいと思った方を結局選びますよね。

—ありがとうございます。最後に、皆さんが経産省に入ってやりたいこと、成し遂げたいことを教えてください！

うさぎ やっぱり日本を元気にしたいよね。日本はオワコンだとか言って海外に移る人もいるけど、経産省に入らには、我々の力でなんとかしたいと思っています。

次郎 僕も根底がそこにありつつ、個別分野でやりたいことがあるんだよね。それ以上に、経産省は霞が関の旗振り役になると思うんだよね。そういう意味でどこかでやりたいと思っているのは、中途システムを作ること。いわゆるリボルビングドアのような形で、官民の間で人材が自由自在に行き来するようなシステムの制度作りをやりたい。これからの日本の成長のために必要なことだと思うから。もう一つは、日本は結構保守的な国だと思うので、レガシーシステムを破壊していくっていうのはいろいろな分野でやっていきたいですね（笑）。

NR やっぱり私も日本を明るくしたいっていうのは思ってた、ここに住んで良かったと思える世の中にしたいなと思ってます。経産省の分野は、自動車などの産業や、エネルギー、ヘルスケアなど、多岐に渡ります。それはつまり、たくさんの人々の仕事や生活に関わると言うことだと思うので、どの分野の仕事も精一杯頑張りたいです。

ももなつ 日本を元気にしたいっていうのはもちろんあります。でも日本は、治安や衛生面は良いし、教育も整備されているという中で、じゃあ何が日本人の不安・不満なのかって考えると、やっぱりお金・経済の部分なのかなと思って。一番そこに働きかけられるのは経産省かなと思ってます。その中で、個別分野としては、ゼミで製造業の中小企業のフィールドワークを中心にやっていたので、中小企業の活性化は興味がある一分野ですね。日本の企業数の99%以上を占める中小企業を元気にするのは、一つ重要なことだと思っています。

うさぎ こうやって自分の志とか日本に対する想いをぶつけたときに、リスペクトし合えて、お互い頑張ろうという気持ちになれる仲間がいるのは、経産省の魅力だと思うし、日本もまだまだ捨てた国ではないなと思うよね。

次郎 そうだね、内定者と話していて、日本の将来のこととか、その想いに至った経緯を聞いていると面白いと思う。そういう人がいるっていうのは日本も捨てたものじゃないし、そういう場所を目指してみるのもいいのではないのでしょうか（笑）。

—取材に協力していただき、ありがとうございました。

いかがでしたか？ここに集まった四人の内定者は、就職活動の中で経産省という組織のカルチャーに魅了され、日本に対する“想い”や志を持ち、それを追求していくフィールドとして経産省を選びました。四人の内定者の軌跡を胸に、冒頭の問いを自分自身に何度も問いかけてみてください。その上で最高の進路選択をしていたければ、内定者一同にとって本望です。

内定者の就活体験記

其の二

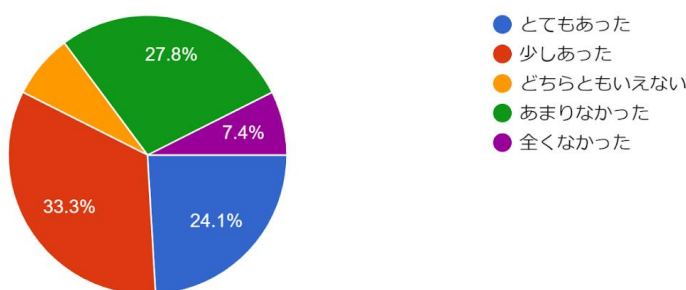
【徹底調査】国家公務員を目指すうえで感じた”不安”

昨今、国家公務員総合職というキャリアについてネガティブに語られることが増えていきます。ニュースやSNSで、「志望者数の減少」「離職者数の増加」といった暗い話題を耳にすることも少なくありません。しかし、今年度の内定者たちはこうした社会の風潮の中で就職活動に取り組み、最終的に経産官僚の道を選択しました。彼らはいかなる葛藤の末に自身のファーストキャリアを決断したのでしょうか。アンケート調査によってその全貌を明らかにします。

(1) そもそも国家公務員という進路を選択することに不安や躊躇はありましたか？

- ・とてもあった:13件
- ・少しあった:18件
- ・どちらともいえない:4件
- ・あまりなかった:15件
- ・全くなかった:4件

(1) 国家公務員の進路を選択することに不安、あ...りなどもあればそれも含めて) はありましたか。
54 件の回答



(2) 就職活動中に聞いた国家公務員についての評判・噂・周囲の反応で特に記憶に残っていることはありますか？

労働環境に関すること

大学の友人に「国家公務員志望」と伝えた時、大抵の反応に「激務」というワードが含まれていた。／時期によっては、ほぼ毎日タクシー帰りをしている、という先輩の話。／高校時代の先生や友人など、周りの人に国家公務員を目指していることを伝えると、「平均睡眠時間は3時間らしいね」などと心配されることが多かった。／心身の健康を崩して辞めたり休職したりされている方が多いと聞いたこと。／ほか多数

それ以外のこと

国家公務員志望を伝えると「安定してていいよね」って言われることがよくある。／内々定を頂いていた企業の方から、国家公務員になるなら企業を引っ張る立場で頑張っ欲しいと応援された。／霞が関の仕事は君が思ってるよりも華やかじゃない。今時コンサルじゃなくてなんで国家公務員なのか。／組織としての大きさと、個人としてどれほど成長できるかにギャップがあるのではないかと（悪い意味で）。／ほぼ全員から口をそろえて「公務員かあ、就活遅くまで頑張っってね」と言われる。

結論：過半数の回答に「激務」「ブラック」「タクシー帰り」といった労働環境に関するキーワードが含まれていました（41件中23件、但し無回答を除く）。

(3) どのような点で不安や躊躇を感じていましたか？ （「とてもあった」「少しあった」と答えた人）

- ・ **給与と労働環境**には不安要素があった。国家公務員を受ける層が併願する民間企業の水準と比較すると確かに見劣りするところはあるかもしれない。ただし、民間企業と言っても比較する対象によって給与や労働環境の優劣は異なると感じます。もっと待遇面で不利な業種・企業は確実に存在するはずなので。
- ・ 働き方に不安があった。特に**睡眠時間を確保できるのか**。躊躇した点は給与面で、やっぱり民間と比べると悲しくなった。
- ・ **ワークライフバランス**について、官僚は国会对応などで事務作業が多くなり、残業も増えるという噂を聞いていたため、不安を感じていました。
- ・ 自分の人生が仕事一色に染まってしまって、**プライベートを充実させるのが難しい**のではないかと。また、民間企業と比べても仕事量に対して待遇があまり良くないという点も不安に思っていた。
- ・ 国家公務員という、特殊な職業を選択する点。**大学院までの専攻が生きる業務ではない**点。特定の業界や職種に付かないため、万が一肌に合わなかったら転職に苦労するのではないかと。という点。
- ・ **学部卒でも内々定が頂けるか**が不安でした（技術系）。
- ・ 就職としても、仕事としても大変であること。**理系の専門性を投げ捨てて**役所に行くことに対する漠然とした不安感。
- ・ 深夜に及ぶ残業に自分が耐えられるか心配だった。**組織の力学によって自分のやりたいことができないのではないかと**心配に思った。
- ・ 部署にもよるが残業が多く、体力的についてゆけるかが不安。また**業務に対する具体的なイメージが湧きにくかった**。
- ・ 残業代が経営を逼迫させることがないため、**残業を減らそうというモチベーションが民間より弱い**と思う。
- ・ 給料面（弁護士と比べて）ブラック（これは弁護士も同じなのでそれほど不安ではなかった）国会对応
- ・ 業務内容と給与が見合っていない点。**世間からの風当たりが強い**点。
- ・ 自分の**将来のライフイベントと両立出来るか**が少し心配でした。
- ・ **副業ができなくなる**点。ダンス業も続けようか迷う瞬間があった。

(4) 不安や躊躇は解消されましたか？ あるいは解消されなかったとしてもなお、最終的に国家公務員を選択した理由は何ですか？

- ・ 解消はされていませんが、**耐えられるかどうかは結局やってみないと分からない**と考えました。国の抱える課題は多くありますが、それらに対して何か自分の主張を述べた時、それを拾い上げてくれる環境は経産省の方が優れているのではないかと考えました。収益性が見込めないとしても、課題がそこにあれば自ら手を挙げ、**ステークホルダーを巻き込みつつ解決に貢献できる環境**こそが公務の魅力であり、そのような環境があることを期待しています。ここが1番の決め手です。商社と悩みましたが、どうしても商社に行きたくなれば転職で行けば良いと考えました。
- ・ 「**スケールの大きさ**」に直感的に惹かれるものがあったから。
- ・ 実際民間企業に勤めているサークルのOBなどの話も聞くと、**コンサルや商社、銀行など人気業界に勤めている方々のワークライフバランスと比べて、官僚のそれが圧倒的に劣っているとは思えなかった**ため、それであれば、自分が興味を持っているルールメイキングという分野に携われる官僚になりたいと思い、改めて官僚を志望するようになりました。
- ・ 給与については、民間との所得差は日ごろの節約など工夫次第で埋められると判断した。労働環境については、まだ解消していないが、淡い期待は持っている。**国家公務員の待遇を改善する流れは来ていると感じる**し、（他省は見えていないのでわからないが）**経産省に関しては改善が進めやすい組織文化がある**と思う。
- ・ 解消されていないが、**細かい不安よりも期待や興味が勝った**から。人生を短期スパンでみたときに、20代が一番働けると思ったから。**経産省は働き方を選べるよと言っていた**から（実際どうかは別として、背中を押してもらった）。

- ・経産省の**イベント後に、女性職員の方々とお話しする機会があり、そこでかなり解消**されました 不安を完全に解消することは難しいと思いますが、それは国家公務員に限ったことでは無いと思います。自身の中で残った不安よりも国家公務員として働く魅力の方が強かったため、国家公務員を目指しました。
- ・解消されていないが、労働環境を改善しようとする動きが見えてきたこと。官僚の残業時間が多いことは広く知られているので、過酷な労働環境を理由として転職することも、容易かと思ったこと。**行政官を経験しない人生は考えられない**と思ったこと。
- ・職員訪問を通して職員の皆さんからリアルな働き方のお話を伺い、改善されていると知ることができました。それでも国家公務員を選択した理由は、**どのような困難があろうとも私はこの国の発展に貢献したいという強い信念を持っていた**からです。
- ・どれも解消されたわけではないが、**人事がかなり要望を叶えてくれるという話**は背中を押してくれた。自分のライフスタイルの変化に合わせ、仕事を重視する時やそうでない時など柔軟に働き方を適応させていくことを決意した。
- ・官庁訪問を通じて、**経産省は比較的自律的なキャリア形成ができる環境**だと知った。働き方についての不安は完全には解消されなかったが、**それ以上に経産省で経験できる仕事に魅力を感じた**。
- ・不安が完全に解消された訳ではないが、待遇や働き方以上に**政策立案に魅力**を感じた。また職員の方や経産省を目指している学生の**雰囲気**が自分に**1番**あっていると思った。
- ・採用担当の方から**学部卒でも採用するという話を聞いた**ため（技術系）。また、採用されなかったら大学院に進学すればいいかなと思ったため。
- ・少しでもやりたいと思った仕事を、**体力面を理由にやってみる前から諦めると後悔すると気づいた**から。
- ・解消はされてない。働いてみないとわからないから、**ひとまずやってみて今後考えよう**と思った。
- ・忙しいのは部署や期間による上、**先輩が休みの日など楽しそうに過ごしている様子を見て**。
- ・**残業代は全額出る**と伝えられたので、若いうちに死ぬほど働くのも悪くないと考えた。
- ・取り組んでいる**業務の社会的責任のことを考えたら相応の話だと思えた**から。

(5) 国家公務員という進路を選択した理由・思いがあれば教えてください。（「あまりなかった」「全くなかった」と答えた人）

- ・**最後死ぬときどの職業を選んだら後悔が少ないかを考えた**とき、国家公務員という答えがぶれることが長期間ほぼなかったので、自信を持って選べた。体力は自信があったので、労働時間の不安はそこまでない。お金は家庭を持ちたいので少し細かいが、将来の配偶者の稼ぎを期待している。
- ・**どこの企業でも辞める人が増えている時代**なので、一番やってみたい仕事を新卒では選んだ方がいいなと感じていました。それで楽しかったら続ければ良いし、**あまりにも辛かったら転職をすればいい**と思っていたので、国家公務員になることへの不安はなかったです。
- ・どんな仕事でも自分に出来ることと出来ないことがあり、何を選ぼうと1人きりで成し遂げられることはないし**大変なのはどの職場も同じ**、と考えていたので、将来のビジョンや待遇はあまり気にせず、今の自分が1番面白そうだった場所を選びました。
- ・日本がいい国であり続けるために仕事をしたいと思っていた。加えて、今までとは違い、**徐々に霞が関においても労働環境が改善されつつある**と聞いていたので、自分が入る頃にはもっと改善されているだろうと思った。
- ・**国家公務員という職業を自由に選択できる自分は恐らく相当恵まれた人間**なので、恵んでもらった分は社会に奉仕したい、自分のように自由に職業を選択できる人を一人でも増やしたい、という思いで選択しました。

- ・一般にネガティブに語られるのは残業面だと思うが、**バイトでも2、3時間残業することはあるし、それによりトータル15時間くらい働くこともあるので自分にとってはネガティブ要素ではなかったから。**
- ・政治という特別なフィールドに近いところの業務に携われ、経験を積めるのは国家公務員を置いて他になく、**多数の尊敬する先輩方がこの国を作り上げてきた、その後進に連なりたかったから。**
- ・今よりは着実に良くなっていくという楽観的な思いがあった。また、金銭報酬よりも、国家全体を見渡し、政策を考えるという**経験報酬の方が魅力的**であると感じたから。
- ・国家公務員の人気低迷は顕著であり、次第に待遇は改善する見込みがあった。このことに加え、**他の人がやらぬのなら自分がやらねばならない、との使命感**があった。
- ・**ネガティブな話はイメージ先行な部分が大きい**と感じます。私は実際に説明会やワークショップで体感した感覚や情報を信じて選んだので、今も後悔はないです。
- ・**もともと国のために仕事をしたいと思っていましたし、**国家公務員は大きな仕事ができると魅力的に思っていたので特に不安はなかったです。
- ・自分自身の関心に沿っており、**一人でも多くの人々の役に立つことを自分の仕事としたい**と考えていたため。

(6) 客観的に見て、国家公務員というキャリアの魅力、またデメリットはどのようなところにあると思いますか。

メリット

- ・政策決定の場に居られること。**GDP3位の国の政策決定に、試験と官庁訪問さえ突破すれば参画できるというのは世界的に見て恵まれている**と思う。そこでの経験は確実に生かせると思う。さらに言えば、民から公への転職事例はまだ多いとは言えない。ファーストキャリアで入って仮に違うと思ってやり直せることは魅力だと思う。また、**次の仕事（民間企業でも学者でも政治家でも）においても、国の動き方を知っていることはプラスに働く**と思う。
- ・**国家規模の大きなプロジェクトに携わる機会**が多く、ミクロとマクロの両方の視点から立体的に仕事ができるダイナミックさ。**異動が数年おきにあるので、部門を横断した経験が出来る**こと。多くの人々や企業の活動に関わるため、責任も大きいですが、やり甲斐も一際大きいこと
- ・**志の高い職員が多い**。ゼロベースで課題と解決策を考えられる。岩盤的な制度にメスを入れることができ、既存の風潮やトレンドを変革し得る。
- ・エゴイスティックな思想を持つ人が民間に比して少ない、**アクセスできる人脈や情報が広い**、働いている人の精神的な生き様が美しい
- ・官僚にしかできないことが多く、また、**年齢制限があるため途中からは参入しづらい**こと。より大きな枠組みを作りたいなら国家公務員はこれ以上ない環境だと思う。
- ・大局的に物事を考えられること！**1年2年の利益にとらわれず、10年後、20年後の国家の姿を考えて政策立案できる**こと、自分の能力を社会に還元できるということの喜びは他のどの職業でも味わい難いものだと思います。また、**待遇面もいほど悪くない**です。金銭面を含めて人生プランを立ててみると、意外と十分だと気づくと思います。
- ・**政治家や利害関係者とのつながりなど、国家公務員でなければ中々出会えないような人と一緒に仕事ができる**ことにあると思います。また異動が多く、多種多様な業務に携わることができる点も大きな魅力と考えます。
- ・**一つの企業で働くならできないキャリアパス**を歩むことができると思う。
- ・**カッコいい**。一国をバックに仕事ができる、自分の努力が国民に還元されやすい職場である。
- ・常に視野を世界、日本全体にもって仕事ができる。**留学に行けるチャンスがある**。
- ・魅力は、国家として社会課題の解決に取り組める点や、**キャリアが安定している**点。
- ・常日頃から国や世界の未来を考えている人にとっては、**仕事はただの仕事以上のものになる**こと。

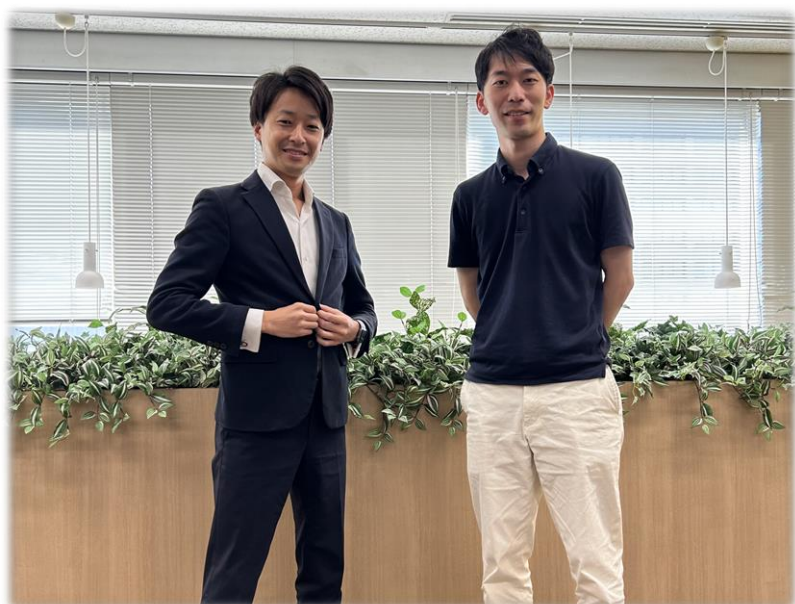
- ・ **雇用の安定性**や国のルールメーカーという点ではメリットが大きいと思う。
- ・ 常に高い視座に立って考え、**質の高い最新の情報に触れられる**こと。
- ・ **ストレートに世の中のためになる仕事ができる**こと。
- ・ 民間企業とは違い、**自社のプロダクトに縛られない事業**ができる。
- ・ 政策に携われる。**課題意識の強い人におすすめ**。
- ・ 責任の重い仕事ばかりだが、**常に未知のことへ挑戦できる**ところ。

デメリット

- ・ やはり働き方。**レクや国会答弁の準備など他律的な業務の改革は多くの関係者を巻き込んで行く必要**があり、改革にコストがかかる。
- ・ 異動が多いので、**1つの事を極めたい人や、専門性を深めたい人には向かないかもしれない**こと。
- ・ 同水準の業務量や働き方の職業（例えばコンサル業界）と比較して**給与が低い**。
- ・ 現場との距離感が遠く、**民間の最新の動向や温度感をつかみにくい場合**がある。
- ・ 野党ヒヤリングでの理不尽な追及などのパワハラ等を構造的に排除できない、数字による評価が出来ないためパワハラ部署を耐えた人が高評価とされる**構造的に解決不能な課題**がある
- ・ 自分が官僚になってしたいことがあれば**特になん**じゃないでしょうか。
- ・ ターゲットを絞ってサービスを提供できないため、**万人に受け入れられる仕事がしづらい**こと。また2年で部署異動があるため専門性を獲得しづらいこと。
- ・ やりがいを感じる部分など**精神的なところがハマらないと**、本来優秀であっても(優秀である人ほど?)消費されていると感じてしまいそうなところかなと思っています。
- ・ 労働時間が長いことが多い。給料がそこまで高くなく、**成果で大きく伸びることもない**。場合によってはキャリアチェンジしづらい？
- ・ **就職活動が遅くなりがちな点**、業務のイメージを持ちにくい点、ワークライフバランスが優れているとは言えない点。
- ・ メーカーの研究職を志望していたため、公務員は新たな技術を生み出すことに対する支援はできますが、自分の手で生み出すことはできないことが、悩んだ点です。
- ・ **家族や趣味のための時間**を相対的に確保しにくい。
- ・ **副業できない**、出世が遅い、待遇が悪い、労働時間が長い。
- ・ **仕事以外の人生の要素との両立が難しい**点。
- ・ 普段から自分さえという思考で行動していると、利他的な仕事はツライかも。
- ・ ベンチャー企業などと比べると**若いうちに自分の好きなようにできる機会が限られる**のはデメリットだと思う。

注) 以上の回答はあくまで内定者が感じていることであり、実態を反映しているとは限らないことを付け加えておきます (パンフレット作成者より)

いかがだったでしょうか。このパンフレットを手にとってくださった読者の中には「国家公務員に興味や憧れがあるけれど、あまりイイうわさを聞かない」と思っている方もいるかもしれません。私たち24卒の多くもまた、そうでした。しかし、実際にそこで働く職員の方のお話を聞く中で、唯一無二かつ無限大のフィールドがここにはある！ と直感し、経産省の門を叩きました。皆さんにもぜひ一度、経産省のイベントに足を運び、「国を動かし輝く自分の姿」を想像していただければ幸いです！



職員インタビュー編

採用担当に聞いてみた

■ 採用担当はどんな人？

事務系



末政憲司さん

- ・入省12年目 事務系採用担当
- ・これまで……産業競争力強化法の作成、原子力政策、新政策の省内編成、法令審査、投資ファンド出向など
- ・米国留学(国際公共政策 & MBA)を経験
- ・趣味は海外旅行、サウナ、テニス

高橋拓磨さん



技術系

- ・入省10年目 技術系採用担当
- ・これまで……FIT法改正、航空機産業、通商政策、コロナ禍の人工呼吸器調達、福島復興推進など
- ・福島×芸術のPJメンバー経験も
- ・最近は料理(自分で作る)とかわいい動物に夢中

■ 試験の区分や席次、説明会の参加回数は重要ですか？

末政さん：区分や席次は全く関係ありません！入省してから意識されることもないです。説明会についても参加回数は関係ないですが、経産省の「政策と人」をよく知っていただきたいので、採用担当としては、説明会に来ていただくと嬉しいです！皆さんが進路を決断する際の納得感を高める上で、説明会は良い機会になると思います。

高橋さん：末政さんに同感です。特に(1)自分を知ること、(2)経産省を知ること、(3)自分と経産省をつなぐこと、の3点が重要だと思います。

そのためにも知識だけでなく、自分のことをよく理解する機会としてイベントを活用してほしいと思います！

■ 採用イベントへ参加する際に事前知識は必要ですか？

高橋さん：ん～特段ないです！しいて言うなら、**何を得てやろう…という自分の狙い**ですかね。せっかくの時間、有意義にして次に繋げる！という心意気も大事かと。

末政さん：細かな事前知識は不要です。イベントに参加いただくことは学生の皆さんにとって、限られた時間を投資いただいていると考えており、採用担当としてはそれに見合ったリターンを出せるように日々努力しています。

その意味で、**皆さんにお願いしたいことは知識ではなく心構えです**。例えば、政策イベントの場合、この話はMETIの「未来の日本を豊かにする」という価値観にどう繋がるのか、どんな主体の行動変容を目指している政策なのか、**自分だったらどうしたいか**、について考えながら聞いていただくと、より投資倍率の高い時間になると思います。

■ 事務系と技術系で評価基準に違いはありますか？

末政さん： METI側の評価基準には違いはありません。皆さんのありのままの強みと弱みを是非見せてください。

学生の皆さん側という視点では、文系や理系、事務系や技術系という区分の中で、就職活動における価値観や併願先、お悩みポイントが相対的に異なる場合もあります。そんな学生の皆さんお一人お一人にトコトン寄り添うため、事務系・技術系それぞれの採用担当がいます。

高橋さん： まったくないです！事務系も技術系も、試験区分もすべて関係なく人物本位です。理系か、文系かは誰かが定めたカテゴリーでしかなくて、勉強がんばってきたのか、バイトだったのか、スポーツだったのか、留学だったのか、**その人の背景に関心があります。**

■ 学生に期待する力がありますか？

末政さん： 政策とは何かという理解です。CustomerやClientを起点に思考がスタートする民間企業とは異なり、我々は公益から思考をスタートさせて社会課題の解き方を考えていきます。その上で、政策とは、意思ある主体の行動変容を促すツールです。皆さんが関心あるどんな社会課題でもいいので、**政策立案の当事者になった場合、どんな主体の行動について、どんな方向へと変革を促したいか、**考えてみていただけると理解が深まると思います。

高橋さん： **今の時代を皆さんの目線でぜひ捉えて伝えていただきたいと思います。**そして**チャレンジする心**…ですかね。何者にでもこれからなれる…こんな素敵な価値は本当に学生の皆さんにしかないことだと思います。

■ 経産省の強みは何ですか？

高橋さん： **大所高所で本質を追求できること**だと思います！

末政さん： METIの強みは、「未来の日本を豊かにする」という価値観の下、アンテナ高く変わりゆく社会課題を常に追いかけ、優先順位を付け、**組織も人も順応しながら対応していける柔軟なカルチャー**だと思います。

■ 読者の皆さんへメッセージをお願いします！

末政さん： 世の中には様々な情報が溢れています。就職活動中の皆さんはそういった情報により一層敏感になっていることでしょう。

私から唯一お伝えしたいことは、**是非、自分の目で見て、耳で聞いて、肌で感じていただきたいということです。**皆さんお一人お一人の就職活動、その先にある進路の決断は、皆さん自身のものです。皆さんの決断における納得感を最大限高められるよう、情報発信しますし、お悩みには本気で寄り添います。

一度きりの人生、国を背負い、本気で社会を1ミリでも前進させたい。そんな仲間に出会えることを心待ちにしています。

高橋さん： 一度きりの人生、**「自分」が将来、向き合いたい事柄・課題はどのようなものですか。**それが大きければ大きいほど、自ずと「日本」を意識することになります。一つの側面だけでは解決できない大きなものです。多くの人の思いや期待に応えながら、次なる未知へと挑戦を続けていく。**「自分」と「日本」を結び付けたときに、経産省という環境に身を置きたいと思っただけだと嬉しいです。**

特集：留学編

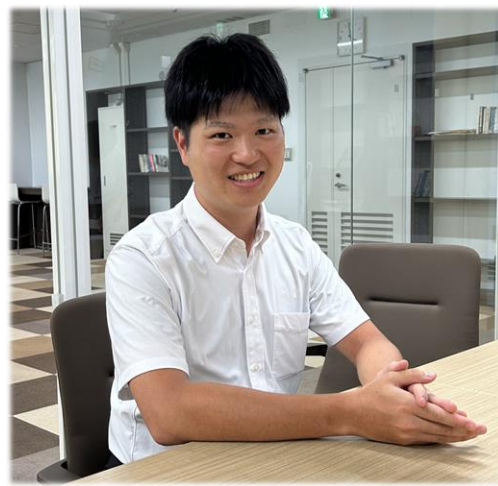
入省後に留学する人も多い経産省で、留学制度はどうなっているのか？
就職した先のことまで知りたい学生の皆さんに代わって、内定者が気になる
留学のあれこれを聞いてみました！

■ この方たちにお話をうかがいました！



小原
夏美
さん

- ・入省10年目
- ・テルアビブ大学(イスラエル)留学
- ・大学生までの海外経験はほぼゼロ
- ・教育学部卒



佐野
智樹
さん

- ・入省9年目
- ・タフツ大学フレッチャー校(米国)留学
- ・小学1～4年生までアメリカ在住

■ 経産省の志望動機を教えてください

小原さん：小さい頃は教員志望でしたが、教育問題に関するニュースを通して、一教員としてできることに限界を感じ、国家公務員を志しました。その中で経産省の説明会に参加した際、職員の方の「**日本を動かし世界を変える**」という言葉に心を動かされ、経産省を志望しました。

佐野さん：実は大学3年生ぐらいまでは外務省を志望していました。しかし、国民の生活に近いところで働き、日本企業の利益や日本人の幸せを肌で実感できるのは経産省だと思うようになり志望を変えました。また、**そうした実感に立って経済外交に携われる**点にも経産省の魅力を感じました。

■ 国家公務員の留学制度について教えてください

小原さん：人事院留学(2年間)と、経産省の提携校へ行く通称METI留学(1年間)があります。**人事院留学は自分で行きたい国(大学)を決め**、省内選考、人事院選考を経た後に、行きたい大学の入学試験を突破すると行くことができます。

佐野さん：留学にあたっては語学やエッセイ執筆等、大学側の求める試験に合格する力が必要になりますが、気になることがあれば省内の先輩経験者に相談できます。**留学期間もキャリアに換算されて、その経験も踏まえて帰国後に処遇される**ことも人事院留学の長所だと思います。



この記事の内容は**人事院留学**で留学されたお二人のお話を元に執筆しています。
各制度の詳細については経産省と人事院のホームページもご参照ください！

■ 留学先はどのように決めましたか？

小原さん：実際に行ってみることで文化や社会構造などの**発見が多い場所に行きたい**と思っていました。そこで以前、サイバー課の仕事でイスラエルに出張し、独特の歴史や地政学的な条件に最適化された経済・社会システムへ興味を持ったことを思い出したのがきっかけです。**最後は何が自分のためになるのかを考え、**人事院留学では過去に前例のないイスラエル留学へ挑戦することに決めました。

佐野さん：小学生でアメリカにいたときはあまり英語を話せず、何となく海外へ苦手意識を持っていました。ですが、入省後に通商や原子力関係の国際交渉を担当する中で、**海外のフィールドでも結果を出すことに集中したいと思い、**なるべく早くの留学を希望しました。アメリカ東海岸の中でも**特に他の大学もあって学生や社会人が多く集まる**ボストンを選んで留学しました。

■ 留学中はどのような日々を過ごしていましたか？

小原さん：授業を履修し、それ以外の時間で文献リサーチやレポートの執筆をしていました。**留学中にはサイバー系スタートアップのインターンにも参加**していて、現地では数少ない日本人として重宝されることもありました。**留学してから英語の勉強は続けていました。**

佐野さん：週4(75分×8コマ)の授業と予復習(量が多い)に時間を使っていました。空き時間は国内を旅行したり、近隣大学への留学に派遣されている多業種の日本人を集めて勉強会を主催したりしていました。**仕事の連絡はほぼなく、**自由な学生生活を過ごすことができました。

■ 留学中にお金で困ることはありましたか？

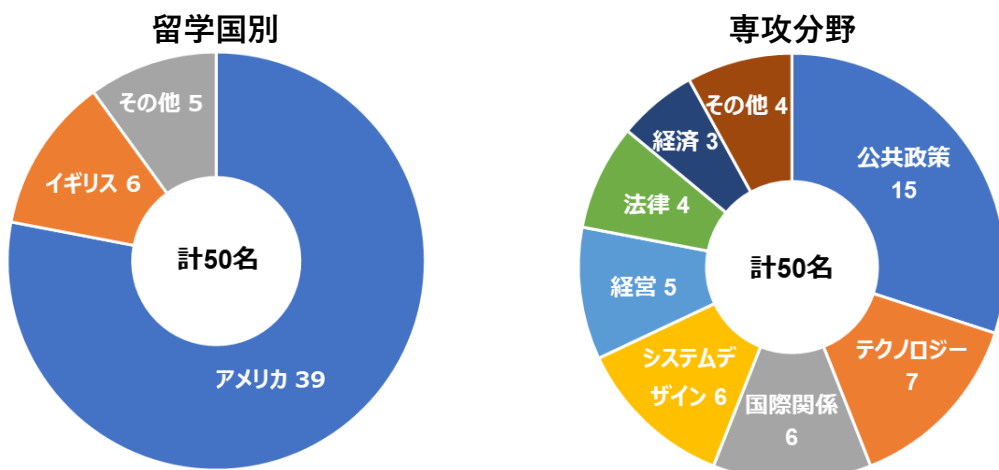
小原さん/佐野さん：**学費は原則全額出る**ほか、留学中は日本勤務時と同じ基本給に加えて**生活費用の日当が支給される**ので困ることはありませんでした。住む場所や家族同伴の有無といった条件によっても変わりますが、実際留学してみて問題に思うことはなかったです。

コラム

実際の留学先や専攻分野はどうなっているのか

※人事院HPに公開されている資料より筆者作成

過去3年間(2019~2022帰国)における
経産省職員の留学概要



留学先はアメリカやイギリスが多く、専攻分野は多岐に渡っているようです！

将来的に経産省から留学をしたい皆さんに向けて...

■ 必要な語学力や留学できる人数はどのくらいですか？

小原さん：TOEFLスコア81以上が人事院の課す要件です。とはいえ**自分の行きたい大学の求めるスコアが必要**なので、たとえばアメリカの大学に行く人だと100程度が目安になってきます。TOEFLテスト対策や選考期間も含めると、留学の準備には2年以上かかりました。

佐野さん：経産省の同期では年間20名程が留学していて、**希望すればどこかのタイピングで留学するチャンスはあると思います。**大学時代のGPA提出はありますが、それほど評価される印象はなく、むしろ入省後に現役の行政官として積んだ経験をどこまで生かしているかの方が選考では重要だと思いました。

■ 社会人になってから留学するメリットは何ですか？

佐野さん：仕事をする中で疑問点や問題意識に気づくことも多く、**何の役に立つかを意識しながら勉強できる点**です。それだけでなく、社会も常に変化していく中で、**切迫感をもって自分自身をリスクリングできる機会**としても、社会人の留学は重要だと思います。個人的には10年に一度は留学したいぐらいです！

■ 留学とプライベートの両立はできますか？

小原さん：数年前に**留学開始時期が入省5～10年目までと広げられた**ので、例えば結婚や出産に関しても、帰国後に考え始める人から出産後に留学する人まで様々です。個人的には仕事に慣れて時間ができた5年目から留学を考え始めましたし、制度全体で見ても**以前より留学とプライベートの両立の柔軟性は高まっている**と感じています。

■ 留学を経て学んだことや、その後の仕事で生かしていることはありますか？

小原さん：留学を経て、視野は広く、視点は高くなりました。研究していた内容が直接使えるとは限りませんが、**日本に対する相対的な見方が身に付いた**と思います。イスラエルという特殊な生き方に浸かっている国に留学したからこそ、逆に**日本の特殊さや問題点に気付き、問題意識を持つことができるようになった**と思います。

佐野さん：**留学先で自分が通用したというメンタリティーを得たことや、海外に臆しなくなった**ことが留学での学びです。また、日本の省庁では外交が外交分野として閉じてしまう点に問題意識を持ち、**常に日本国内への影響を想像する必要性を強く感じました。**これからは日本の国民性を生かしながら、日本が世界の秩序を創るようなことをしたいと考えています。

いかがでしたでしょうか？今回のインタビューが、皆さんにとって経産省をより深く知るきっかけになれば幸いです！
経産省には省内留学や在外経験をした方がまだまだたくさんいらっしゃいます。
採用イベントでは留学の経験も含めて、多くの方から話を聞く/質問する機会があるのでぜひ参加してみてください！



特集：キャリアパス編

経産省のワークライフバランスは...？

就活先を選ぶ上で気になる「働き方」について、子育てと仕事を両立していらっしゃる職員の方にお話を伺うことができました！

■ この方にお話をうかがいました！



村尾 梢さん

- 入省10年目
- エネルギー分野に関心があり入省
- 妊娠中もTCFD(気候関連財務情報開示)コンソーシアムの立ち上げをするなど、忙しい業務に携わる
- 現在は4歳と2歳のお子さんを育てながら、マネジメント業務を中心に活躍

■ 経産省の志望動機を教えてください

村尾さん：エネルギーに興味があり、**産業政策としてエネルギー分野を育てたい**と考えていました。企業でもエネルギーに携わることはできますが、一企業として利益を追求するよりも、**日本としてベストな解を見つけたい**と考え、経産省を志望しました。

■ 産休・育休前後の働き方について

村尾さん：一人目は新しい部署に着任して2～3カ月での妊娠でしたが、体調が変わらなかったためそのまま業務を続け、出産に伴い8カ月間の産休・育休に入りました。復帰して1年3カ月ほど仕事したのち、二人目の出産・育休を経て現在に至ります。

子供の迎えで帰りが早い日もあるので、周囲の課の人たちの協力は絶対に必要です。**自分が仕事を抱え込むというよりは、課全体のマネジメントに注力して**、自宅では対応できる範囲の仕事をしていました。

妊娠中の体調は、元気な人もつらい人もいて、人それぞれだというのは是非お伝えしたい点です。

■ 出産・育児を経て働き方に対する価値観に変化はありましたか？

村尾さん：大きく変わったと思います。何より**コスパ重視の考え方になった**ので、たとえばミーティングをするとしても何のためなのか、なぜ自分が参加する必要があるのか、といった点を常に明確にしながら働くようになりました。

■ 産休・育休明けのお仕事でブランクを感じることはありませんでしたか？

村尾さん：産休・育休の制度の関係で復帰後すぐは自由が利く環境にいたこともあり、困ることはあまりありませんでした。むしろ、**個人的にはもっとしっかり忙しくても働きたいと思った**ので、二度目の育休後は忙しい部署への配属を希望しました。

■ 経産省の産休・育休制度について、ご意見をお聞かせください

村尾さん：女性目線では充実しているのではないのでしょうか。女性は産後8週間までの産後休暇に加え、育児休業は3年以内の2回まで取得が可能です。加えて、法改正があり、子の出生後57日以内に2回まで取得が可能です(産後パパ育休)。休みの取り方に関しても周囲と相談してフレキシブルに決めることができます。それだけでなく、**省内には産休・育休の経験がある人も多く、相談できる雰囲気があると思います。**ただ、特に男性は育児のために早く帰ることが少ないとも感じるので、**休みの必要な状況にあるご家庭の方は積極的に休みを取るようにしてほしい**と思っています。

■ 早帰りをするときなど、周囲の反応が気になることはありますか？

村尾さん：特に気にしていることはありません。**子どもの親は自分しかいないので、子育てのために必要なときは早く帰っています。**

■ 経産省内の男性女性の比率についてどう思われていますか？

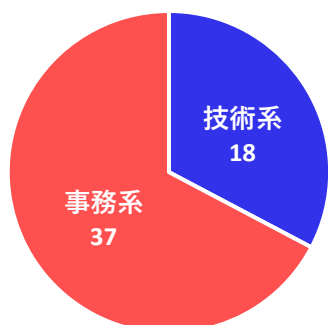
村尾さん：入省以降(特に最近)、気にしなくなりました。そもそも**経産省の男女比率が社会的に見て珍しいわけではない**ですし、少し引いて考えれば他の組織でも同じことが当てはまることかもしれないと思います。実際、自分自身が働いている中で男性が多くて働きづらいと思ったこともないです。

■ 国家公務員のワークライフバランスに不安を抱く学生に向けて、メッセージをお願いします！

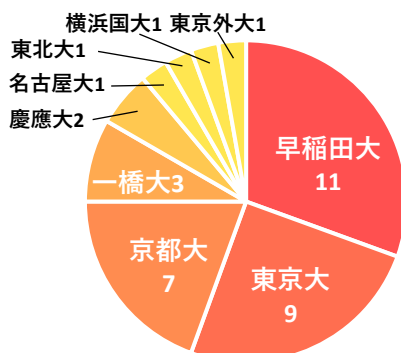
村尾さん：これまで働いてきて、トータルの仕事量で見るとそこまで多すぎることはなかったと感じています。**自分自身が何を優先するかによって働き方は決まっています**し、結婚や出産といった**ライフイベントもその中の選択の一つ**だと思います。ただ、そのことに気づけたのも実際に働いてからのことなので、学生のうちからあまり考えすぎずに挑戦してほしいです。

内定者丸わかりデータ

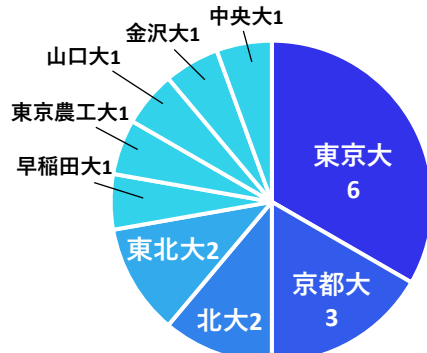
事務系・技術系比率



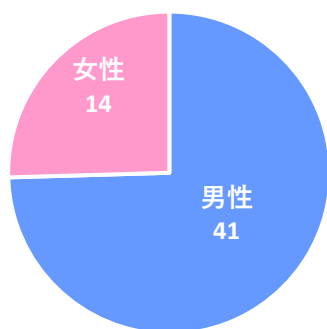
事務系出身大学(院)



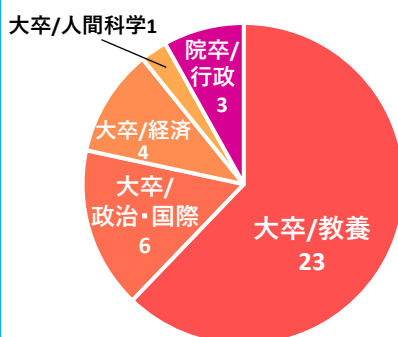
技術系出身大学(院)



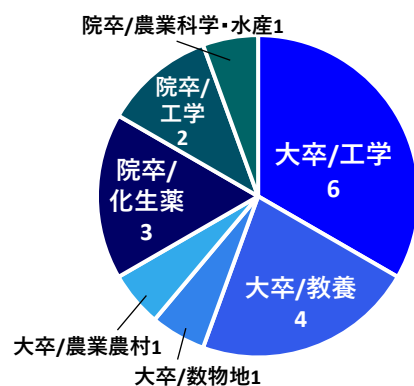
男女比



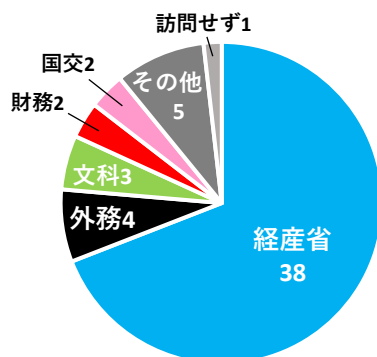
事務系試験区分



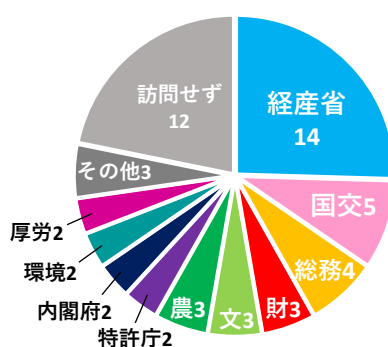
技術系試験区分



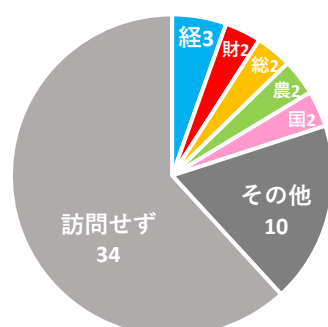
1日目訪問官庁



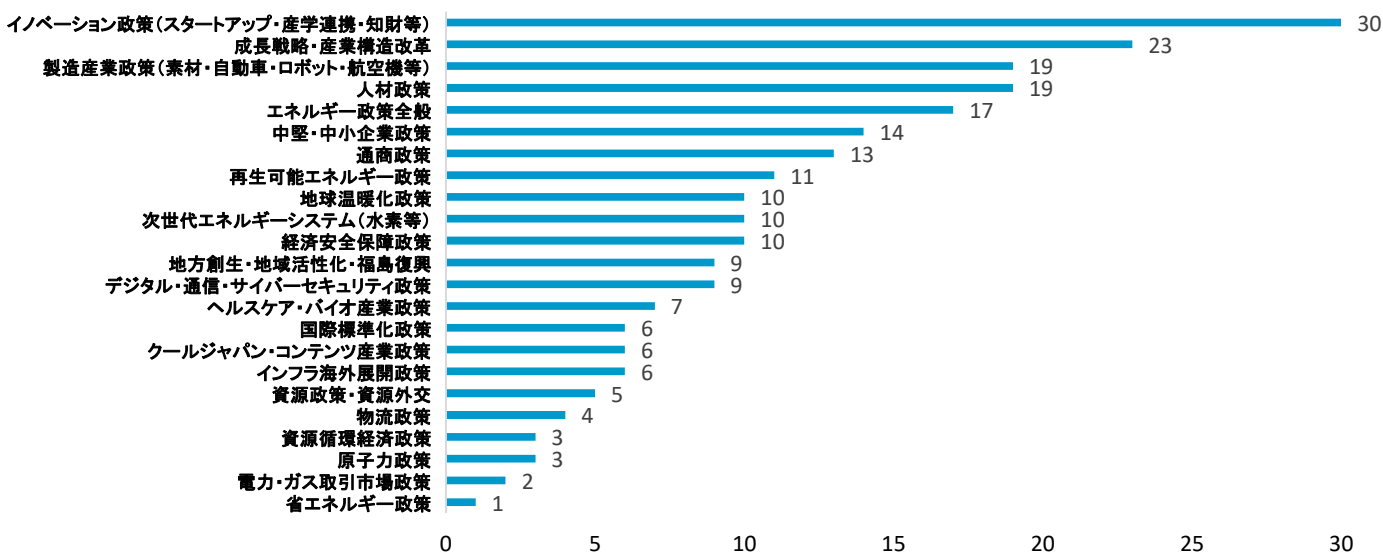
2日目訪問官庁



3日目訪問官庁



関心のある政策分野（最大5つまで回答）



内定者アンケート



試験区分

名前



出身大学/大学院



サークル/バイトなど



併願省庁/併願企業

写真

#ハッシュタグ1

#ハッシュタグ2

【志望動機】

志望動機を簡単に、かつカジュアルに回答してもらいました！

【ガクチカ】

学生時代に力を注いだこと(いわゆるガクチカ)を回答してもらいました！

【オリジナル質問】

自分への質問と回答を、自由に考えてもらいました！

首都圏外

遠方から官庁訪問した内定者たち

02, 03, 04, 06, 13, 24, 29,
30, 31, 36, 38, 39, 42, 44,
45, 46, 47, 49, 52

1weekインターン

夏の1weekインターン（現 1week Summer School）に参加した内定者たち

03, 07, 08, 12, 15, 16, 19,
21, 22, 24, 29, 32, 33, 34,
35, 37, 39, 48, 49, 52, 53

海外経験

留学経験や帰国子女などの内定者たち

05, 06, 08, 09, 11, 13,
14, 15, 19, 20, 41, 48

予備校

公務員試験の予備校に通っていた内定者たち

01, 09, 12, 16, 21,
22, 29, 30, 31

体育会

体育会系の部活に入っていた内定者たち

02, 17, 23, 24, 26,
31, 38, 44, 48, 54



大卒/政治・国際

たつくん



早稲田大学政治経済学部政治学科



学生団体GEIL/公認会計士予備校のチューター



なし



予備校

志望動機

持続的に成長できる国を作るため、スタートアップの躍進や人を中心とした経営戦略が重要であると考えており、それらの政策に携われる経産省を志望しました。

ガクチカ

学生生活を通じて、物事に貪欲に取り組み、成長を志向する姿勢を磨いてきました。大学2年次に公認会計士試験に合格後、民間企業のインターンでスタートアップの資金調達に携わりました。

おすすめの気分転換方法は？

モータースポーツ(自動車レース)を観ましょう。ネットでもいいですが、実際にサーキットで車の轟音を聞くと、体中がゾクゾクしますよ！



大卒/教養

きりたんぽ



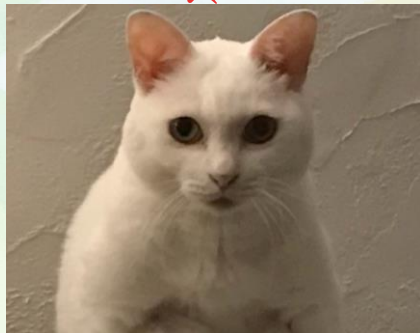
京都大学大学院文学研究科現代史学専修



体育会サイクリング部



マスコミ、文科省など



首都圏外

体育会

志望動機

「失われた30年」の不安・焦燥から、国家公務員を選択しました(他にはマスコミも)。高等教育と雇用慣行の関係に関心があったので文科省も志望していましたが、社会・経済全体を俯瞰し進取の気性で改革を志向する(ように見える)経産省のカルチャー・価値に共感して決断しました。

ガクチカ

大学・大学院での学びです。ゼミや論文執筆を通じて得た論理的な思考・表現能力と、近現代史の学習がもたらす現代に直結した幅広い教養、ということにしました。学部生が多数だからギリギリ通じる主張ですかね...

座右の銘は？

塞翁が馬



大卒/経済

たけさん



京都大学経済学部経済経営学科



もるてん、京大バーベル部



コンサルティングファーム



首都圏外

1weekインターン

志望動機

日本の経済成長に貢献することを軸に、コンサル業界、メガバンク、経済産業省を就職先として検討しました。最終的に、政策というツールを用いて、幅広い領域に大きな影響を与える点に魅了を感じ、経済産業省を志望しました。

ガクチカ

バレーボールサークルの代表として、コロナ禍で失われた活気を取り戻すことに尽力しました。学年間、男女間の関わりを一層深めるためのイベント運営や、サークルの雰囲気作りを通じてこれを実現しました。

座右の銘は？

「好きだから上手じゃなくて、上手だから好きなんだ」です。何事も楽しんで行なうためには、それを上手に行なう能力が必要だと思っています。そして、色々なことを楽しめるよう、日々成長していくことが大事だという思いをこめてこれを選びました。



院卒/行政

利平



京都大学



弓道、スタートアップ、塾講



国土交通省、商社



首都圏外

志望動機

100年先の未来でも日本で暮らす人が日本にいて良かったと思えるような国であって欲しい、そしてそれに少しでも貢献できる仕事がしたいと考えて国家公務員を志望しました。

ガクチカ

健康寿命の地域格差の要因分析をテーマに研究をしていました。社会経済的条件が健康にも強く関連することが分かり、経済産業省への志望度が高まりました。

これから挑戦したいことは？

大学にマラソンをされている先生が多く、体を強くしておいた方が良いとアドバイスをいただいたので、自分もフルマラソンを完走できるように頑張る予定です。



大卒/教養

D.K.



早稲田大学政治経済学部国際政治経済学科



特になし



外務省、農水省/総合商社、エンタメ、政府系金融

海外経験



志望動機

「日本のあるべき姿を、常に世界との関わりの中で模索したい」という思いから、国家公務員の仕事に惹かれました。中でも、人々の生活や業界と特に距離の近い経産省において、最もリアリティのある国際交渉に関われるのではないかと考え、志望しました。

ガクチカ

様々な国の歴史や文化を見て回することで、人の立場に立って考えることができる視野の広い思考様式を獲得したいと考え、欧州9か国を巡って旅行記をまとめました。毎日各地の博物館を訪れ、現地の人に積極的に質問したことで、多くの学びが得られました。

民間ではなく国家公務員、そして経産省に行きたいという思いが固まったのはいつ？

官庁訪問後半です。決断を迷い、かなり苦しい時間もありました。多かれ少なかれ、誰でも就活をする上で迷いや悩み、焦りが生まれると思います。苦しい時期もあるかもしれませんが、自分が納得するまで悩み抜いた時間こそがその後の人生の糧になるのではないかと、今では思っています。



大卒/政治・国際

N.T.



京都大学大学院総合生存学館



新島塾(文理融合のリーダー養成プログラム)



なし



首都圏外

海外経験

志望動機

持続可能な社会づくりに貢献したいと思い、経産省を志望しました。元々、「地球環境問題がもたらす制約の中で、いかにして人々の経済的繁栄を確保していくか」という課題意識があり、その課題に対して多面的に取り組める場所が経産省だと思いました。

ガクチカ

学部時代は、新島塾(文理融合のリーダー養成プログラム)の活動に力を入れていました。1期生としてプログラムの礎を作りつつ、そのプログラムで行われた古典的書籍の読解やフィールドワークなどを通じて、知的基礎体力と大局的な視点を得ることができました。

学生時代にやっておいたほうがいいことは何か？

留学です。私自身も、留学を通じて自分の存在や日本を俯瞰的に見るができるようになりました。もちろん、国内でも俯瞰的な視野を得ることはできますが、今までの当たり前を根本から疑うような強い原体験を得るには、留学が1番だと思います。



大卒/教養

まっぴー



東京大学法学部第3類



吹奏楽サークル、新聞サークル、個別指導塾



厚生労働省、金融庁



1weekインターン

志望動機

国家公務員を志望したのは、①公益を純粋に追求できる、②日本の全体最適を考えられる、③根本課題にアプローチできると思ったからです。経産省を志望したのは、「暮らしやすい社会」「多様な人が活躍できる社会」を実現するために、経産省であれば根本的かつ幅広い領域にアプローチできると感じたためです。

ガクチカ

吹奏楽サークルでは、パートリーダーや会計責任者として、コロナ禍の中でどのようにサークルを維持・運営していくか、考え実行しました。また、学生時代にしかできない多様な経験を積むため、新聞サークルで記者として取材を行ったり、群馬県みなかみ町で2週間の農泊に挑戦しました。

いつから経産省を志望していたか？

経産省の魅力を知ったのは、大学3年生の夏頃でした。インターンシップに参加し、自分のやりたいことが経産省でもできると強く感じさせられました。その後様々なイベントに参加する中で、徐々に第一志望になっていきました。実際、最初から経産省を志望していたわけではなかったが最終的に経産省を選んだという人も多いです。



大卒/教養

RH



一橋大学法学部



英語ディベート、学生団体



コンサル



海外経験

1weekインターン

志望動機

官庁訪問などを通じて、経産省は日本の国際競争力強化のために、現場の声を聞きながら日本企業や日本人の行動変容を起こしていける場所だと思えたからです。特に、日本と海外の強みを繋いで新しい価値を生み出す、通商や国際連携の面に携わりたいです。

ガクチカ

私が力を入れたのは英語ディベートです。試合に勝つために、チーム内での意思疎通をいかに早く行うかが課題でした。そこで、私はパートナーと共にお互いの思考や性格の特性を分析し、15分という限られた準備時間を最も効率的に使う方法を編み出しました。

留学は国家公務員就活に役立ちましたか？

留学経験自体が「ガクチカ」にはなりにくいかもしれませんが、海外の視点から日本を見つめ直したことが、国家公務員を目指す大きなきっかけになりました！ 留学に限らず、学生のうちに海外に行くのはおすすめです！



大卒/教養

たーしー



東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻



環境系サークル・Webライター等



外務省・農林水産省・金融・メーカー



予備校

海外経験

志望動機

「環境貢献」を軸として就職活動を進める中で、経済との両立を考えることができる人間になりたいと思い、経済産業省を見るようになりました。また、グローバルな視野を持ちながら働くことができそうな点も魅力的でした。

ガクチカ

バックパッカーとしてアメリカやロシアなどを横断しました。異国の地では困ったときに誰かが声をかけてくれることは期待できないので、自分から積極的に頼りに行くことが大事でした。どこの国でも優しい人はいるのだと実感しました。

これから身に着きたいスキルは？

料理ができるようになりたいです。元々釣りが趣味で、長期休みには泊りがけで友人と釣り旅に行くことも。釣った魚は自分で捌いて食べるのですが、もう少し手の込んだものを作れるようになりたいと思っています。



大卒/経済

こた



横浜国立大学経営学部



自転車サークル、電動キックボードシェアリングサービスインターン



財務省、国土交通省、国税専門官、国家一般職、県庁



志望動機

自分も含め人々が未来に希望を持てる豊かな暮らしの社会を目指し、多方面で日本が成長し続けなければならないと感じた。その中で、成長していく基盤を作る官の役割に魅力を感じ、学部の勉強やインターンの経験から経済面からのバックアップをしたいと思い、経産省を志望した。

ガクチカ

電動キックボードの日本での普及に向けて尽力した。日本で電動キックボードが全く認識されていない頃に、アメリカ旅行をした友人から電動キックボードについて教えられ、その利便性に魅了された。以後、学内プロジェクトやインターンなどでその普及に携わり、街中で見かけない日はないほどになった。

日々のリフレッシュの方法は？

堤防に立って瀬戸内海を眺めることです。すごく開放感に包まれると同時に、生まれ育った地元を感じることができます。また、瀬戸内海は水平線の代わりに緑の島々が見えるため目も良くなると思ってます。ただ、東京には瀬戸内海がないので、山に行こうと思います。



大卒/教養

M.M.



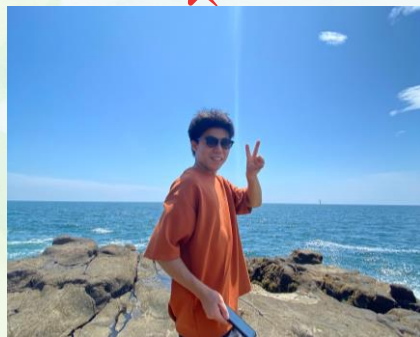
早稲田大学法学部



最高の男子寮



農林水産省、商社、独立行政法人



海外経験

志望動機

私は幼少期の海外生活から、平和で安全かつ豊かな日本の魅力に気づき、その発展に貢献したいと考えました。その中でも経産省は国内から海外まで一貫して、かつ多くの産業分野に跨って日本の発展に貢献できるので、経産省を志望しました。

ガクチカ

幼少期に海外で生活し、中学・高校においても海外に留学したことで、世界を俯瞰する視点と環境適応力を身に着けました。大学でも海外の学生とビジネスモデルを考案するプログラムに参加し、異文化圏の人々と一つの目標に向かって協力する経験を得ました。

趣味は？

野球、ギター、釣り、ドライブ、漫画、アニメ、旅行、史跡巡り等です。趣味が多いためお金がいくらあっても足りません！



教養/大卒

トマト



早稲田大学政治経済学部経済学科



学習塾



エネルギー会社(大手からベンチャーまで)



予備校

1weekインターン

志望動機

就職活動を始めてみて、自分の頑張りがみんなに還元される仕事がしたいという思いに気がつき、エネルギーに興味を持ちました。民間も公務員もどちらもとても魅力的でしたが、日本のエネルギー全てに関われる唯一性と、最後まで「国のため」に働けるかっこよさから経産省を志望しました。

ガクチカ

トレーディングカードゲームの競技シーンに力を入れました。最適な戦略決定を行うため、PDCAサイクルを回すチームを結成し、集合知を作り上げました。その結果、100人規模の大会で複数回優勝することができました。

官庁訪問前の読者に伝えたいことは？

調査票がうまく書けず、内定者bookに助けを求めにきたそのあなた！大丈夫、僕もあなたと同じ状況でした。一つアドバイスを送るなら、「スクラップ&ビルドを恐れない」ことです。一度書き上げたものを否定したりされたりするのは辛いでしょうが、諦めず考え続けましょう！



大卒/教養

S



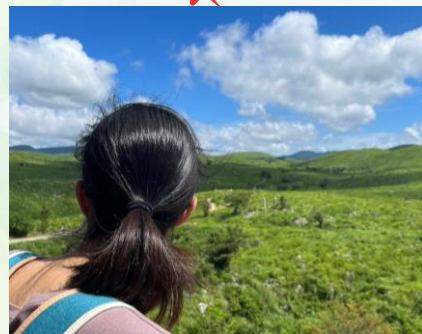
京都大学総合人間学部総合人間学科



マンドリンオーケストラ



なし



首都圏外

海外経験

志望動機

京都での学生生活や半年間の交換留学を通して、「日本で思ってたよりまだまだ魅力的な国かも」と感じ、国の将来に関わる国家公務員という仕事に興味を持ちました。中でも、扱う分野の幅広さや組織の雰囲気から経産省を志望するようになりました。

ガクチカ

力を入れたのはサークル活動です。音楽系の団体で合宿の復活や他大との合同演奏会の運営に奔走し、気付けば同期から「役職ガチ勢」と呼ばれていました……。基準が厳しい頃の大学との交渉や、様々な利害関係者がいる中での調整には苦労しましたが、貴重な経験となりました！

好きな芸能人は？

さまあ〜ずです。中学時代からのファンで、ライブを観るためだけに夜行バスで弾丸帰京したことも……。笑



大卒/政治・国際

ゆに



早稲田大学政治経済学部政治学科



ラオス学校建設教育支援～スーン～



外務省



海外経験

志望動機

国家公務員の魅力的なところはルールメーカーになれるということだと思います。私はプレイヤーとしてルールの中でプレイするよりもそのルールを変えていくことで全体を成長させることに興味を持っていたので、国家公務員を志望しておりました。その中でも経産省では様々な分野に携わる機会があり、自分の成長機会も多いと思い、志望しました。

ガクチカ

私は大学2年時にウクライナ難民支援の活動を行いました。ロシアのウクライナ侵攻に対して自分にできることはないかと考えていた時に大学の有志による募金活動に参加し、100万円以上の寄付を集めました。

趣味は？

旅行です。旅行では自分の知らない世界を見ることができるので好きです。1人でもグループでも楽しめます。トルコかエジプトに行ってみたいです。



大卒/教養

たけのこ



慶應義塾大学経済学部経済学科



フットサルサークル



財務省、金融庁



海外経験

1weekインターン

志望動機

競争力のある日本経済の復活に貢献したい、その想いを基盤にコンサルやシンクタンクを中心に就職活動をしていました。その中でも、現場感と大局観双方を持ちながらスケールの大きな仕事ができる経産省に憧れて、入省を決めました。

ガクチカ

交換留学に行くまでの期間は語学の向上に力を入れました。これまで海外滞在経験もなかったのでTOEFLのスコアを基準点の100点まで上げるのは容易ではありませんでしたが日々の成果が実り達成することができました。また、留学先では第二外国語の中国語も使用するため、中国語の向上にも力を入れました。

趣味は？

サウナです！

2日に一回行くくらい好きで、最近では地方のサウナ巡りもしてます。
(官庁訪問中はサウナ付きのホテルに泊まって英気を養ってました笑)



大卒/経済

Yun



慶應義塾大学商学部商学科



大学公認合唱団／個別塾講師



東京都、財務専門官、国家一般職、国家総合職(経産省、財務省財務局、人事院)



予備校

1weekインターン

志望動機

VUCA時代、日本経済を低迷から脱却させるには産業全体を通じてイノベーションの風を吹き込む事だと考えていますが、ゼミでの学びを通じて企業だけで達成する事は難しいと感じました。イノベーション創造を含む、日本経済を活性化させる大きなムーブメントを起こす経済産業省に魅力を感じ、志望しました。

ガクチカ

私は所属するゼミのグループ論文発表(三田論)で、カニバリゼーションという現象を経済学モデルで表現する事に貢献しました。先行研究が少なく、定量的に捉えられない現象のため、かなり苦戦しましたが、経済学のグラフに落とし込み説明する事を発案しました。結果、グループ論文発表は上手く進みました。

最近行った国は？

韓国の釜山です！

母の実家があるので帰省しに行きましたが、ビーチもたくさんあり、海産物も美味しいのでオススメです♪



大卒/政治・国際

だれお



東京外国語大学国際社会学部中央ヨーロッパ地域



体育会ラグビー部



外務省(結局官庁訪問はせず)、投資銀行、国際協力機構

体育会



志望動機

社会、人々一人ひとりを豊かにしたいという思いをもって就職活動を行いました。その中で、さまざまなアプローチで国富の拡大を追求することのできる経産省を志望するようになりました。

ガクチカ

私は、高校・大学と異なるスポーツに打ち込んできました。その中で常に個人としての成長とチームへのコミットを意識して取り組んできました。

経産省を志す原体験は？

3つあります。一つ目に、高校生の時に行ったドイツ留学、二つ目に、海外で就職する友人との会話、三つ目に、宇宙ベンチャーでの長期インターンです。



院卒/行政

ゼフ



早稲田大学大学院法務研究科



なし



なし



志望動機

法律を使う仕事よりも、法律を作る仕事に魅力を感じたため、法曹ではなく官庁を選択しました。そして、資源政策やデジタル、スタートアップなど個人的に関心のある分野を扱っていたのが経産省であったため、経産省を志望しました。

ガクチカ

大学院まで進んだので、法律に関する専門的な知識を有していることや、学部自体からの学業面はアピールになりました。また、民間企業などでのインターン経験もあったため、それらもガクチカとして話しました。

趣味は？

最近バイオリンを始めました。年齢を重ねても楽しめる趣味があると思います。



大卒/教養

Tifa



早稲田大学国際教養学部国際教養学科



模擬国連早稲田研究会、個別教室のトライ



独系エネルギー企業



海外経験

1weekインターン

志望動機

エネルギー問題も、気候変動問題も、社会を動かす力のある企業が動かないとなかなか社会は変わらないという気づきから、日本で企業の大きな流れを作ることができる経済産業省を志望しました。

ガクチカ

青年環境NGOでの活動に力を入れました。NGOでは、日常の勉強会に加えて、企業や省庁、研究機関との意見交換や、イベント企画・登壇、COP27派遣などを経験しました。特にCOP27ではジャパンパビリオンでの登壇も経験し、気候変動の国際議論の中心を目の当たりにしました。

趣味は？

スイーツです！高校生の時からスイーツにハマリ、特にパフェ、パンケーキ、モンブランが好きです♡自分では一切作りません。食べ専です！なお、暇な時はよく東京のスイーツリサーチをしています。



大卒/教養

mm



一橋大学経済学部経済学科



国際部、広告研究会、学内派遣交換留学支援団体



民間企業



海外経験

志望動機

以下が主な理由です。

- ・不満に思うことに対して当事者としてアプローチできる職員だと考えたから。
 - ・関わることでできる分野の広さ、お会いした職員の方の柔軟性に魅力を感じたから。
- ＋（働き方などに不安があったが）自分の20代の使い方として納得がいったから。

ガクチカ

長期インターンに力を入れました。当初結果が見えにくい業務に取り組むことに難しさを感じましたが、対象分野の勉強や目標設定を工夫をすることで、自分で仕事のモチベーションを保つことができました。

就職活動を終えた人として後輩に伝えたいことは？

私のように進路を決めかねている方がいらっしゃったら、官民関係なく早い時期からOBOG訪問をすることをおすすめしたいです。説明会などでは話題に上らない具体的な仕事のお話が伺えたり、自分との相性がなんとなくわかったり、社会人の方の立場からご意見をいただけるのでとてもためになりました。



大卒/教養

ちーばくん



一橋大学法学部法律学科



経済学研究会



厚労省、文科省、国家公務員一般職、愛知県庁

予備校

志望動機

1weekインターン

中学生の頃、国家公務員が活躍する某映画を観て「国のため・人々のために働く」ことに憧れを抱きました。その後、大学での学修や課外活動等を経て、「人々や企業が新たな挑戦を通じて、経済的にも精神的にも満足できる真の豊かさを享受できる社会の実現」という理想を抱き、経済産業省であればそれを目指せると考え、志望しました。

ガクチカ

学修支援ボランティアに力を入れて取り組みました。子ども達に「いかに分かりやすく教えるか」について苦労する日々を過ごしていますが、同僚ボランティアとの協力や、経験豊富な職員への相談を心掛け、一人ではなくチームとして子ども達を支援するよう努めています。

大学で勉強したことは？

法学部生として行政法のゼミに所属しています。また、副専攻として教育学のゼミにも所属しています。他に、「経済学研究会」というサークルで経済学を学んだり、他学部・他大学単位互換制度を利用して政治学やプログラミングも勉強したことがあります。



大卒/教養

なーん



早稲田大学法学部



なし



国家総合職、商社、金融

予備校

志望動機

1weekインターン

日本を先の見通せる社会にしたいと思い、その課題を考えると経済が生活に直結する一つの軸になると思い至りました。自発的にアイデアを出して働きかける仕事をしたいと思い、経産省を志望しました。

ガクチカ

学習教室のアルバイトです。小中学生の生徒にわかりやすく伝えることができるよう、他の先生のアドバイスを受けながら一人ひとりに合った話し方をしました。毎回学びがあって、自分の方が成長させられる機会になりました。

やっておいて良かった対策は？

多くの説明会に足を運んだことです！自信を持って志望するためにも、複数の省庁、企業を複数回見ることは役に立ちました。全く興味のない業界でも一回は行ってみると心境の確認ができると思います。ぜひ就活の機会を使って、いろんなイベントに参加してみてください！！





大卒/教養

OGATA



早稲田大学法学部



少林寺拳法部



総務省



体育会

志望動機

地方活性化に興味があり、地方の中小企業支援や地方のスタートアップ支援を行うことを通して地方活性化ができればいいなと思ってました。そのためには、国家公務員となって国全体の政策に携わることが必要で、両方を満たしているのが経産省でした。

ガクチカ

大学2年の時に少林寺拳法部に入り、週5日で練習しています。最初は大会で予選落ちし、悔しい思いをしましたが、練習内容を工夫することで技術を向上させ、関東学生大会では単独茶帯の部で優勝できました。

好きな作家は？

松岡圭祐先生です。「万能鑑定士Q」シリーズが有名だと思いますが、他にもたくさんのシリーズを出されていて、そのどれもが面白いです！ 2ヶ月に1冊というハイペースで質の高い新作を出し続けている点も超人的で、尊敬しちゃってます。



院卒/行政

T.Y



京都大学大学院公共政策教育部公共政策専攻



政策提言ゼミ、まちづくり研究会



コンサル・シンクタンク、金融、ベンチャー



首都圏外

体育会

1weekインターン

志望動機

産業振興を通じて日本社会の持続的な発展に貢献したいと考えていました。そのためには、特定の企業や業界にアプローチするのではなく全体の流れや構造ごと変革する必要があると考え、その意思決定に参加すべく経産省を志望しました。

ガクチカ

政策提言ゼミにおける、コンテスト形式での自治体に対する政策提言活動に力を入れました。当該自治体の議事録から総合計画、データ分析サービスを参考に、課題の発見から解決策の提示まで綿密に行った結果、とある賞を受賞しました。

官庁訪問中に困ったことは？

毎朝の満員電車と面接時の緊張です。前者に関しては、毎朝体力50%ぐらいで官庁訪問に臨まなければならず辛かったです。最寄りから随分離れた場所に宿泊したのを後悔しました。後者に関しては、やはり民間と緊張感が異なり、緊張のあまり所々記憶が飛びました。



大卒/政治・国際

みみみ



早稲田大学社会科学部



弁論部/政治経済研究会/コーヒーショップ



自治体向けのコンサル



志望動機

公共に関わる仕事をしたいと思い、民間では公共コンサルを受けました。しかし中長期的な観点でルールを作るという役割は民間ではなく国でしかできないと思い、国家公務員を選びました。その中でも、広い領域も担当し、また自分の関心である安全保障と地方創生にも関われる経産省を選びました。

ガクチカ

弁論部での活動に取り組みました。弁論大会出場時には、論理やデータのみではなく、相手が納得しやすいようにストーリーを組み立てることを意識しました。原稿の組み立てから大会前日の発声練習まで、先輩や同期と共にひたすら改善を重ねた結果、準優勝することができました。

趣味は？

旅行です。一人旅も友人との旅行もよくやります。47都道府県制覇済ですが、世の中には全自治体を回る猛者もいるらしく、上には上がいるなと思っています。負けられないですね。最近はレンタカーを借りての旅行にハマっていて、最後の夏休みは鹿児島県の錦江湾沿いをドライブしました。



大卒/教養

ヤアマン



東京大学教育学部教育実践政策学コース



運動会バドミントン部



文科省、総合商社、銀行



体育会

志望動機

社会を自分事として捉え、より前向きな社会につなげられるような仕事がしたいと考え、国家公務員を選びました。その中で、職員の方々の雰囲気と多様なアプローチで未来を切り拓ける点から経産省を志望しました。

ガクチカ

大学の運動会バドミントン部の活動に力を入れました。主務として、外部団体や他大学へのヒアリングや大学関係者との調整を行い、コロナ禍で中止になっていた定期戦を再開しました。

志望時期は遅くても問題ないか？

問題ないです！私は4月頃から経産省にちゃんと関心を持ったので、経産省のイベントはほんの数回しか参加できていません。ただ、早いことには越したことがないので、迷ったらとりあえず参加してみてください！



大卒/教養

次郎



東京大学法学部第1類



なし



財務省(2日目)/環境省(3日目)・商社/海運



志望動機

金銭的・キャリア的なリスクが存在するために、自分の本当にやりたいこと、興味を持ってできることを職業として選択できない人が自分の周りですら多いことに違和感と危機感を抱き、現状を変えるには経済面からのアプローチが必要と考え経産省を志望しました。

ガクチカ

国会議員事務所のインターンとして、生まれ育った東京を出て様々な人々と関わるうちに、それまでの外交に携わりたいという思いが、どちらかという内政に携わりたいという思いに転化しました。経産・財務と回ったのはそういう理由です。

好きな映画は？

もう随分昔の映画ですが、ひまわりという映画が大好きです。俳優も音楽も最高ですし、物語を象徴するようなウクライナのひまわり畑のシーンが本当に美しいです。見られる媒体こそ限られますが、オススメです！



大卒/教養

John



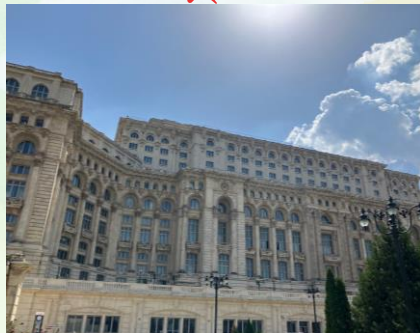
東京大学法学部第3類



なし



財務省



志望動機

日本を拠り所として生きてきた自分にとり、先祖から受け継がれた国を守り、子孫に伝えていくのは当然の義務であり、かつ自分が携わりたい多くの政策と密接である経済産業省を志望しました。

ガクチカ

学生コミュニティの立ち上げ・運営を行い、一定の規模まで拡大させながらも、有機的な交流を産み出してきました。現在は90人を超えるメンバーに成長し、中長期的な活動を志向しています。

尊敬する人物は？

大久保利通です。日本の殖産興業を推し進めた現実主義者であり、彼の鋭い眼差しに憧れています。



大卒/教養

M.I.



京都大学法学部



法律相談部、ドラッグストア、家庭教師



国土交通省、海運業界、総合商社

志望動機

多様な個人がそれぞれの可能性を持ち続けられる社会を実現したいと考えており、経産省であれば安定して暮らせる基盤を構築することと、国内外で挑戦し活躍できる環境を整備することの双方にアプローチできると考えたからです。

ガクチカ

私はNPO団体でのインターン活動に力を入れて取り組みました。団体HPのリニューアル案作成を担当しました。団体職員と認識のすり合わせをこまめに行った結果、職員の満足度が高いものを提案することができました。

趣味は？

散歩です。京都の街は歩いていて楽しいです。



首都圏外

予備校

1weekインターン



大卒/経済

おかひ



神戸大学・経済学部・経済学科



テニスサークル、塾講師・飲食バイト



地方銀行、国家公務員一般職

志望動機

私の地元のような年々人口が減っている地域は日本全国にあり、そのような地域をどうにかして活気づけられるようなことがしたいと感じ、産業や医療、インフラなどさまざまな分野に携わる機会のある経済産業省を志望しました。

ガクチカ

大学でのゼミ活動において、実証分析を用いた政策論文大会に出場しました。実際に政策を考えるプロセスに触れたことで、自分が将来どのような形で社会課題に関わりたいのかを明確にすることができたと考えています。

趣味は？

読書。自分のペースで内容を理解できるから。



首都圏外

予備校



大卒/教養

たに



名古屋大学法学部法律政治学科



居合道部



国土交通省



首都圏外

体育会

予備校

志望動機

さまざまな可能性にあふれるこの日本社会を守ること、個人が挑戦し続けられる環境を形成したいと思い、公務員を目指しました。その中でも、市場のルールを変えることで企業に行動変容を促す力がある点に魅力を感じ経産省を志望しました。

ガクチカ

私は、大学での居合道部の活動に力を入れてきました。日々の地道な稽古の積み重ねにより、多くの大会で入賞することが出来ました。また、学生大会の運営にかかわったことで、課題を解決する過程で視野を広く持つことが出来るようになりました。

朝食はご飯派？パン派？

ご飯派です。名古屋は喫茶店のモーニング発祥の地として有名ですが、私は、名古屋で一人暮らしを始めてから自炊にはまったため、ご飯派のままでした。ただ、部活の朝練がある日は、ぎりぎりまで寝すぎて、朝食を食べていませんでした。



大卒/教養

なの



早稲田大学政治経済学部経済学科



政策立案コンテスト運営団体、レストランホールスタッフ



コンサル、政府系金融機関



1weekインターン

志望動機

日本の経済の活性化に貢献できる仕事をしたいと思い、経産省のほかコンサルや政府系金融機関に関心を持っていました。その中で、経済を様々な角度から捉え、マクロな視点から働きかけられる経産省のキャリアに魅力を感じ、志望しました。

ガクチカ

政策立案コンテストに参加と運営を経験する中で、直感に基づく議論に疑問を感じ、大学のゼミで計量経済学を学びました。エビデンスに基づいて立案することで、効果的かつ説得力がある政策づくりを目指します！

官庁訪問、直前の過ごし方は？

志望動機を論理立てて話す練習をしました！自分の経験から価値を置いている部分と根拠を持って話す仮説とに分けて考えると整理しやすいです。たとえば経済に興味を持った理由として、「大学で学んで興味を持った」と「日本社会において経済の重要性を感じた」だと質問されるポイントが違って、前者は経験の深掘り、後者はそう考えた根拠を聞かれます。志望動機を語る中でこの点を意識すると質問にも答えやすくなると思います！



大卒/教養

ももなつ



東京大学経済学部経営学科



東京大学コーロ・ソーノ合唱団



国家公務員総合職(農水省、総務省等)、
デベロッパー、金融等



1weekインターン

志望動機

ゼミのフィールドワークで様々な製造業の工場を見学し、日本企業の仕事に対する細部までのこだわりやプライドに感銘を受けました。今後日本市場が縮小して行く中で日本企業がより海外で活発に活動できるようにしたいと思い、ハードの面からこれを達成することができる経産省を志望しました。

ガクチカ

私は合唱サークル代表として年に二回の演奏会を開催しました。コロナの影響で非常に人手不足でしたが、運営の効率化や積極的に練習に参加する空気づくりなどを同期と共にを行い問題を解決しました。

趣味は？

漫画やアニメです！ 最近、長時間集中することができなくなってきましたが、カッコイイ感じの漫画・アニメが特に好きです！ いろいろな分野を見ているので、気軽に声をかけてください！



大卒/教養

よだお



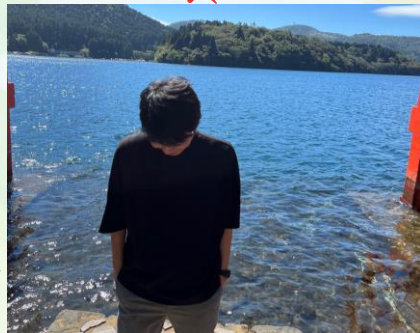
東京大学法学部第1類



模擬国連駒場研究会、データコンサルティング会社インターン、営業インターン



コンサルティング会社



1weekインターン

志望動機

社会的にインパクトがある課題に取り組むことができ、かつそれを戦略的に解決できる仕事がしたいとの思いから民間就活ではコンサルなどを回っていました。最終的には、官庁訪問で管理職の方々の視座の高さを改めて感じ、自分もこのレベルの視野を持って課題解決に臨めるようになりたいと思うようになり、経産省に入省することを決めました。

ガクチカ

学生時代はゼミでの活動に力を入れていました。そのゼミは国際ビジネス仲裁と交渉のコンペに出場するという内容のものでしたが、私は英語班の一員として仲裁分野の法律分析を主に担当し、結果としてチームの上位入賞に貢献することができました。

趣味は？

漫画を読むことです。最近だと呪術廻戦とアオアシをひたすら追いかけてます！



大卒/教養



東京大学経済学部経営学科



ダンスサークル、家庭教師、動画広告



実質なし！



1weekインターン

志望動機

「世の中変えてえ！」という思いを実現できるのが経済産業省でした。国の機関で唯一「変える」ことに焦点を当てた省庁だと思うので、この職場から何かを変えて誰かを幸せにしたいと思い志望しました。

ガクチカ

ダンスの技術を磨いて、某テーマパークダンサーやアイドルのダンス指導など、ダンサーとしての仕事を獲得しました。自分の「好き」を価値にするために、自分の見せ方に気をつけて先輩ダンサーと話したりSNSを頑張ったりしました。

好きなサイゼリヤのメニューはなんですか？

ミートソースボロニア風です。チーズとタバスコをかけまくって食べるのが好きですが、チーズのサービスがなくなってしまって悲しいです。



大卒/政治・国際



東北大学法学部



国際法サークル、居酒屋(3年間続けてます！)



外務省



首都圏外

志望動機

途上国開発に関心があり、国際課題の解決には民間企業の参画が必須だと思っていました。経産省の突破力や巻き込む力で、日本の産業界が社会課題の解決をビジネスに取り込み、長期持続的に成長していく社会を作りたいと思い、志望しました。

ガクチカ

国際法模擬裁判で英語弁論者を務めました。半年間で一から知識を積み上げ、論理的な弁論を考えた結果、大会当日には裁判官役の鋭い質問にも耐えることができました。

国家公務員を目指したきっかけは？

大学3年生の6月に、某省庁から内々定を得ていた先輩から「君は民間っぽいよね」と言われ、逆に公務員に興味を湧いた。



大卒/人間科学

ay



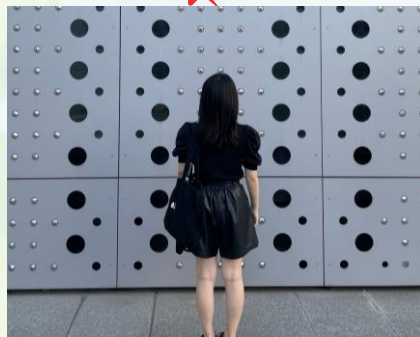
東京大学教育学部教育実践政策学コース



家庭教師の営業のアルバイト、キャリアイベントやアイデアソンの運営など



総務省(自治分野)、家庭裁判所調査官



1weekインターン

志望動機

日本で今を生きる人が次世代に向かって「ここに生まれてくるののおすすめだよ」と言える社会をつくりたい。経産省の職掌範囲が広いこと＝ビジョンの実現に向けて必要なことは何でも取り組める環境であることを生かしたい。

ガクチカ

家庭教師の営業のアルバイト。契約後に担当講師が決まるというビジネスフローは、顧客にとってリスクのある決断であり営業が難しいが、具体的な指導の提案と、相手に真摯に向き合う姿勢により、信頼を寄せていただけることを実感できた。

試験区分は採用に関係ある？

採用担当の方の「区分は関係ない」というお言葉を信じて、人間科学区分(心理学、教育学)で受験しました。本当に区分は関係ない&志望動機をしっかりとめられれば問題ないようでした。



院卒/工学

葡萄酒



北海道大学大学院総合化学院生物化学コース



体育会ゴルフ部



総合商社、政府系機関、コンサル



首都圏外

体育会

志望動機

「日本と海外を繋げる仕事」を軸に就職活動をしていました。はじめは民間企業ばかり見ていましたが、色々な業種の方から話を聞くことを通して一社でできることの限界も感じました。そこでより大きな視点で働ける国の仕事に興味を持ち、志望しました。

ガクチカ

私は部活動の制度改革に力を入れました。コロナ禍で思うように活動ができない中、様々なルールを検討する良い機会であると感じました。元々課題に感じていた大会の場所や日時を変更し、皆が参加しやすい大会づくりを行い、参加者を3倍に増やした。

座右の銘は？

「人事を尽くして天命を待つ」です。就職活動の際にも、自己分析をし、相手のことを調べ、話したい内容をしっかり準備しておけば、恐れることは何もなく、あとは結果を待つだけだと清々しい気持ちで望めました。



院卒/化学生物薬学

NR



京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻



学生委員会



文部科学省、メーカー



首都圏外

1weekインターン

志望動機

研究を通して、研究で生み出された新たな技術が人々に広く活用されるためには、様々な社会課題が存在すると感じました。これらの課題解決に取り組みたいと考え、国会公務員を志望し、その中でも多岐に渡る分野に携われる経産省を志望しました。

ガクチカ

医療AIの研究を行うために、プログラミングの勉強をしたことです。最初は文法が分からず挫折そうになることもありましたが、その都度先輩や同級生に相談し、プログラミングの勉強や研究を進めることができました。

研究と就活の両立は？

先生に事前にご相談し、公務員試験や官庁訪問の期間中は就活に専念していました。一方、就活専念期間の前後は研究に集中し、研究に遅れが出ないように調整していました。



大卒/工学

こだま



東京大学工学部都市工学科



まちづくりプロジェクト、バドミントンサークル



デベロッパー・国交省・総務省



志望動機

日本全体を元気にしたいという気持ちがありました。その中で経済・産業にアプローチして日本全体の活性化を図ることが出来る経済産業省が一番自分のやりたいことに合致していると感じ、志望するに至りました。

ガクチカ

私は、群馬県の町を対象にしたまちづくりプロジェクトに力を入れてきました。その中でも特に私は、町の空き家の調査やその10年スパンでの活用方法、そのための社会実験について担当してきました。

好きなスポーツはありますか？

やる方而言ったらバドミントン、見る方而言ったら野球が好きです！特に野球は千葉ロッテマリーンズが好きで、たまに観戦に行きます！



大卒/工学

ゆた



中央大学大学院理工学研究科
都市人間環境学専攻



ジャズダンスサークル K*mmy



国交省, JERA



海外経験

志望動機

自分の専攻である土木工学を基盤に気候変動、国際協力、チャレンジ精神、一緒に働きたい人がある就職先というキーワードで就活を行っていました。官庁訪問を通じて経産省の社会的責任、仕事の幅広さ、政策策定における風通しのよさを魅力を感じ志望しました。

ガクチカ

様々なことをとにかく経験しました。趣味で大学から始めたジャズダンスは今でも継続していますし、まちづくりの学生団体にも所属しています。研究室においても積極的に海外出張に同行し、現地の学生との交流も行いました。

プリンは固め派？トロトロ派？

昔風の固めの焼きプリンが流行ってますが、プリンはトロトロ派です。



大卒/工学

ちげら



京都大学大学院工学研究科電子工学専攻



歴史研究会、書道部、卓球サークル、農業サークル/
居酒屋、塾講師



特許庁、総務省(情報通信系)、メーカー(主に知的財
産職)、テレビ局(血迷って)、戦略コンサル(落ちた)



首都圏外

志望動機

所属していた歴史研究会の活動の中で、「どういった国が衰退し、何をすれば国が繁栄できたのか」といった問いについて幾度となく考えてきたため、技術を深める研究よりも、技術を実社会に生かし、豊かな国を作りたいと考えた。

ガクチカ

歴研の会員はみな文系学部だったので、自分も文系分野の強みを獲得しようというラテン語を独習して、勉強会を企画・主催した。個人的な興味から、ニュートンの『プリンキピア』の一節を勉強会で扱ったら、気付けば物理の勉強会になっていたのは良い思い出。

高校卒業から大学入学まで、期間が空いてますが…？

浪人してました！しかも仮面浪人！塾講師のバイトをしていたら、現役で京大に落ちたことを生徒にイジられたので、思いきって受け直したらなんと合格。大学生活2周目、授業が既習のため自由な時間を沢山確保できてよかったです。禍を転じて福と為す！禍福は糾える縄の如し！人間万事塞翁が馬！



大卒/工学

サトシ・ナカモト



早稲田大学創造理工学部社会環境工学科



Waseda Formula Project(レーシングカー設計製作)



国土交通省・建設コンサルタント



志望動機

小さい頃から「自分が作る100万の価値より、他者が作る101万の価値」という功利主義的な思想を持ち、ダムのような公益に資する施設が好きで、必然的に国交省志望でした。しかし官庁訪問の土壇場で「奉仕する価値ある日本を創る」という野心が芽生え、経産省を志望しました。

ガクチカ

サークルで排気量650ccレーシングカーを作り、他大と一緒に走らせるという活動をしていました。任天堂の某レースゲームをやっていたらスピード感の想像がつくと思います。溶接スキルから営業スキルまで、多くの力がついたと実感します🐣

METIのインターンはおろか、説明会にも参加できていないけど大丈夫ですか？

大丈夫です！官庁訪問中に省庁について勉強するような学生も採用されています。ただし、官庁訪問の半分を占める「原課訪問」では、正しい政策理解に基づく逆質問や提言を見られます。そのため官庁訪問に向かう電車の中でも政策概要を読むくらいの気合は持ってください！



大卒/教養

ダッチマン



東北大学大学院薬学研究科分子薬科学専攻



学友会トライアスロン部



シンクタンク、Sler、メーカー、製薬



首都圏外

体育会

志望動機

元々、ものづくりが好きで理系の道へ進みましたが、研究室の日々を通じて、ものづくりの環境や土壌を整えることの重要性を認識し、就職先としてメーカー以外も考えました。その中で、経産省は日本にいる多くの人々に対して最も貢献できると感じたため、志望しました。

ガクチカ

大学では様々なことに挑戦しました。トライアスロン部に入部し全国大会に出たことや、週6日の研究室でエネルギッシュな日々を送ったこと、社会人サークルに所属し自分より大人の方と交流を深めること、学生団体の運営に携わったことは良い経験になりました。

就職活動における一番のピンチは？

公務員試験の二次試験とオンラインの学会が重なってしまったことです。その時は学会発表を行い、その1時間後に政策課題討議試験(GD)に望みました。結果的に、試験は最低点を獲得しました。



大卒/工学

かず



山口大学工学部電気電子工学科



Bar



国家公務員のみ



首都圏外

志望動機

「誇りを持てる国」にしたいと考え志望しました。ここでの誇りとは自身の思い・考えが他者からの認められることを指します。自身の思い・考えが認められるとは何かを考えたときに、挑戦できる環境が整備されていることであると考えました。体系的に環境整備ができるのはどこかと考えて決断しました。

ガクチカ

大学一年生から三年生にかけて、日常生活における「なぜ」「なに」について、高校生・大学生・社会人という年代を超えたメンバーで探究する活動に力を入れてきました。

この先やりたいことは？

旅行が好きなので、様々な場所へと足を運び、その土地での出会いを紡いでいきたい。



大卒/教養

ヒロ



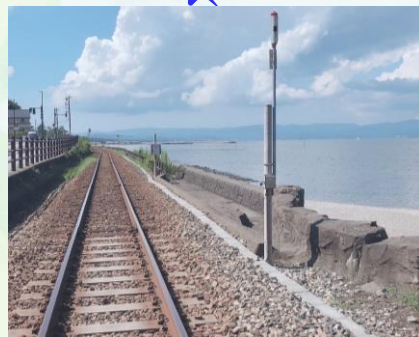
金沢大学大学院自然科学研究科
生命理工学専攻



株式会社ニトリ(バイト)



エネルギー業界・商社業界・内閣府



首都圏外

志望動機

エネルギー問題の解決に取り組みたいと考え、エネルギー業界や商社業界も見ていました。その中でも、エネルギーの上流から下流まで幅広くアプローチでき、かつ日本の発展を第一に考えて働くことのできる経済産業省に魅力を感じました。

ガクチカ

大学での研究活動に力を入れてきました。未活用のバイオマス資源を用いたエネルギー生産を目指し、バイオマス溶媒の開発に取り組み、研究成果の特許出願および学会発表を行いました。

研究職ではなく、なぜ公務員？

ヒトやモノを繋ぐことに魅力を感じたためです。研究活動を通して、世の中には優れた研究成果が数多く存在していることに気付き、それらと社会を繋ぐ役割を果たしたいと考え、公務員を選びました。



大卒/教養

さめ



京都大学工学部建築学科



鳥人間サークル



国交省、ディベロッパー、インフラ



首都圏外

志望動機

昔からものづくりが好きでしたが、自ら1人の技術者になるよりも様々な企業の挑戦を支えることで製造業全体を元気づける働きがしたいと考えるようになったので、経済産業省を志望しました。

ガクチカ

鳥人間サークルで機体の強度試験の方法を刷新することに取り組み、それまで重機をレンタルして行っていた試験を自分達で実施できるようになりました。

趣味は？

ダーツです。部屋にダーツボードを設置していて、いつでも短時間で気分転換できるのが良いところです。



院卒/化学生物薬学

うさぎ



東京大学大学院新領域創成科学研究科



運動会水泳部、塾講師、長期インターン



総合商社、メーカー(化学、重工、FA)



体育会

海外経験

1weekインターン

志望動機

日本の現状を見過ごすことが出来なかったからです。特定の立場やものの見方に偏ることなく、利害関係から自由になり物事をフラットに見つめ、課題の真因に向き合い解決したい。そのような生き様を体現できる場所は他でもなく経産省であると考えました。

ガクチカ

水泳において大会で成績を残したことや、部活における自分の役割・役職などについて話していました。また、英国に交換留学した際の経験や、卒論・修論研究についても話していました。

就活を通して得たものは？

物事を構造化して話すスキルや、相手の意図することを汲み取るスキルが身につきました。色々な企業の社員とお話するのも楽しかったです。また、自分自身の原動力や長所・短所といった普通に生きているだけでは直視しない要素と向き合う時間を得たことで、自分という人間への理解も深めることができました。



大卒/数理科学・物理・地球科学

びいすと



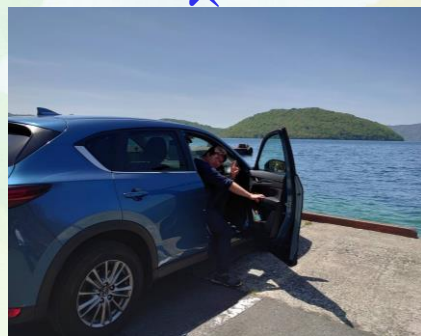
東北大学大学院環境科学研究科
先端環境創成学専攻



地学ゼミナール・塾講師



国土交通省・総務省/インフラ全般・銀行



首都圏外

1weekインターン

志望動機

自身も多くの人々に支えられて生きてきた中、「人々の生活を支える」仕事に興味があり、国家公務員の他にインフラ業界や金融業界を見ていました。その中でも職掌が広いこと、広く社会貢献したいと考え経済産業省に決めました。

ガクチカ

塾講師で3年間同じ生徒を担当し、第一志望校合格の手助けをしたことです。生徒に合ったカリキュラム、目標設定やご両親への説明、第一志望校への「学生生活アンケート」など頑張ったこともあって、合格時の喜びもひとしおでした。

写真の場所は？

十和田湖畔です。「人生初青森県だ〜！」と興奮していたのですが、あとから確認したところ写真の場所は秋田県でした。



院卒/化学・生物・薬学

つー



東京農工大学大学院農学府農学専攻
生物生産科学コース



個別指導塾、カフェ



文部科学省、農林水産省、高校教諭



志望動機

大学で研究を行うなかでバイオ研究やバイオ産業の発展に貢献したいという思いが芽生え、それを達成するには経産省がベストだと考えたから。また、経産省は幅広い分野に携われるため課題解決に向けた多角的な視点が得られると感じたから。

ガクチカ

研究活動で日本初のウイルスを発見しました。北海道の作物栽培に貢献するために作物の病気に関係するウイルスの検出を試み、実験方法の改良を重ねたところ、日本ではまだ報告のないウイルスの検出に成功しました。

試験勉強の方法は？

基本的には過去問メインで、大学の教科書で不足知識を補いました。分からない問題は研究室の教授や先輩方に一緒に考えてもらっていました。私は試験一か月前からひたすら勉強だけしていましたが、実験の知識経験は試験にも生かせるので、可能な限り研究しながら勉強するのが良いと思います。



院卒/工学

C.S.



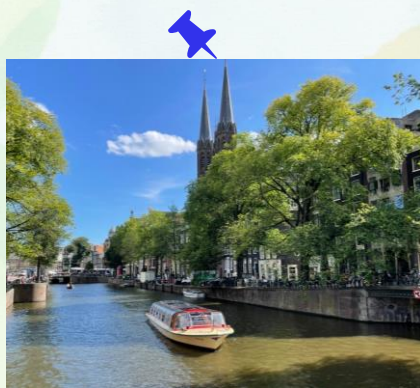
東京大学大学院工学系研究科
バイオエンジニアリング専攻



無し



メーカー、コンサル、特許庁



志望動機

研究をする中で、特に社会実装に近い分野では、課題解決やイノベーションを通じて豊かな日本を目指してこそ、科学技術全体の底上げと、ひいては日本全体の豊かさに貢献できるのではないかと考えるようになりました。一技術者としてではなく、マクロな視点で貢献できることに魅力を感じるようになりました。

ガクチカ

科学技術と社会をつなぐ活動や、中高生の進路選択支援事業に力を入れました。ロボットの世界大会に関わったり、地方学生への講演をしたりしていました。

研究とのバランスは？

院生は優先順位をつけることが大切だと思います。基本的には研究が第一優先でしたが、職場訪問前日は早めに切り上げて予習をしたり、官庁訪問直前は実験をお休みしたりしていました。研究の機会はこれが最後となる方も多いと思うので、メリハリをつけて頑張ってください！



大卒/工学

おが



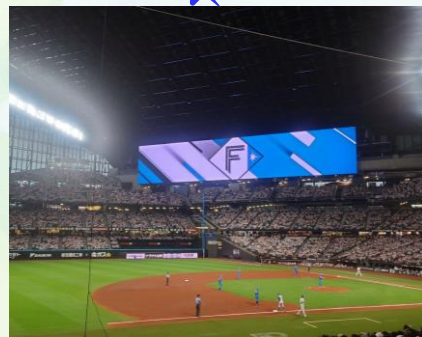
北海道大学工学部情報エレクトロニクス学科
電気電子工学コース



居酒屋のホールスタッフ



特許庁、総務省、院進



首都圏外

1weekインターン

志望動機

日本の企業が世界で競争力をもって活躍できるよう支援したいと考え志望しました。経産省であれば、技術開発だけでなく、人材育成や他国との連携など、様々な側面から企業を支援することができると思ったためです。

ガクチカ

居酒屋でのアルバイトに力を入れてきました。とても忙しい店舗だったので、自分の中で優先順位を決めて働くことを心がけました。その結果ミスが少なくなり、余裕が生まれ、丁寧な接客が出来るようになりました。

趣味は？

旅行です。北海道は観光地がたくさんあって飽きません。



院卒/農業科学・水産

さとp



東京大学大学院農学生命科学研究科
水圏生物科学専攻



ダンスサークル、登山サークル、IT系バイト、個別指導



国土交通省、インフラ、メガバンク



1weekインターン

志望動機

人々の生活を持続的に支える仕事がしたいと思っていたので、国家公務員やインフラを見ていました。その中でも、数十年後を見据えて生活や産業の基盤を整え、快適な地球環境の維持にも貢献できる経産省が最も魅力的だと感じ、志望しました。

ガクチカ

卒論研究ではどう工夫して原因解明・対処したか、サークルでは自分はどんなキャラでチームにどのように貢献したかを話していました。現在行っている修論研究を行うに至ったきっかけやアルバイトの経験についても話していました。

好きなファミレスは？

サイゼリヤです。



大卒/農業農村工学

R. I.



東京大学農学部生物環境工学専修



運動会ラクロス部



コンサルティングファーム



体育会

志望動機

日本経済が停滞し国内企業が様々な課題に直面している状況のなかで、自分は産業界全体に責任をもち、現状を変化させうる仕事をしたいと考えました。脱炭素や経済安全保障など、経産省の所掌する個々の政策に関心が強いのも要因です。

ガクチカ

ラクロス部では、学生日本一を目標に主将としてチーム計画や組織運営をするなかで、スポーツをするだけではない多くの経験をしてきました。今後の人生の軸となるものを見つけられたと思います。

民間就活との両立は？

自分は11月からと就活のスタートが遅かったのですが、そこから総合職試験の準備、経産省についての勉強、民間企業の就活を並行して行いました。経産省の技術系は、個々人の状況に合わせた多様な形で就活を行えると思います。



大卒/教養

たろう



東京大学大学院工学系研究科
マテリアル工学専攻



自主制作映画サークル



商社、メーカー



志望動機

テクノロジーを学問の世界からビジネスへと繋げる仕事に携わりたいと考え、それをサポートできる国家公務員を志望した。経済産業省であれば、産業の観点から技術の社会実装、ビジネス化に関われると考えた。

ガクチカ

研究チームに属し、新型合金の変形現象に関する研究を始めた。文献の読み込みや実験、シミュレーションを通じて未知の現象の発生原理を提唱し、論文執筆を始めることができた。

趣味は？

自分でストーリーを考えてそれを漫画にすることが好きです。株はコロナ禍以降地道にやってきました。経産省に入ると取引できないようなので少し残念です。最近はポーカーが好きでハマっています(金はかけないです)